

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-9

＜第7週＞百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同
時期と比較してかなり多い／その他最新動向
＜1月＞性感染症・薬剤耐性菌感染症について



注目すべき感染症
P.10-13

＜インフルエンザ＞
第7週の定点当たり報告数は16.75となり、第5週以降3週連続で
減少した



病原体情報
P.14-17

インフルエンザウイルス 2008/09シーズン／感染性胃腸炎関連
ウイルス 2008/09シーズン



速報
P.18-22

平成20年度第3期・第4期麻しん風しん予防接種の取り組みについ
て－函館市／日本のHIV感染者・AIDS患者の状況



海外感染症情報
P.23-24

コンゴ民主共和国でのエボラ出血熱流行の終息／鳥インフルエン
ザーベトナムにおける状況／ナイジェリアでの髄膜炎菌感染症流
行／ジンバブエでのコレラ流行



感染症の話
P.25

＜今週はお休みです＞



読者のコーナー
＜今週は該当記事は
ありません＞



グラフ総覧(7週)
P.26-31



グラフ総覧(1月)
P.32-36



1月のデータ
P.37-39



7週のデータ
P.40-52



発生動向総覧

※2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

<第7週コメント> 2月18日集計分

◆全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核256例

3類感染症

コレラ1例

感染地域: フィリピン

細菌性赤痢1例

感染地域: エジプト

腸管出血性大腸菌感染症6例(有症者3例、うちHUS 1例)

感染地域: 国内6例

国内の感染地域: 埼玉県1例、岐阜県1例、静岡県1例、愛知県1例、大分県1例、国内(都道府県不明)1例

年齢群: 1歳(1例)、3歳(1例)、20代(2例)、50代(1例)、70代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(3例)、O157 VT2(1例)、O119 VT1(1例)、O121 VT2(1例)

累積報告数: 67例(有症者43例、うちHUS 5例)

4類感染症

つつが虫病1例

感染地域: 東京都

マラリア1例

熱帯熱__感染地域: マラウイ

レジオネラ症6例(肺炎型5例、ポンティアック型1例)

感染地域: 福島県2例(うち温泉1例)、茨城県1例、東京都1例、愛知県1例、京都府1例

年齢群: 50代(1例)、60代(2例)、70代(1例)、80代(2例、うち1例死亡)

5類感染症

アメーバ赤痢14例(腸管アメーバ症14例)

感染地域: 東京都2例、神奈川県2例、石川県2例、大阪府2例、福島県1例、国内(都道府県不明)4例、ベトナム/カンボジア1例

感染経路: 経口感染3例、性的接触3例(異性間2例、同性間1例)、不明8例

ウイルス性肝炎4例

B型3例__感染経路: 性的接触2例(異性間2例)、不明1例

単純ヘルペスウイルス1例__感染経路: 不明

急性脳炎1例

A型インフルエンザウイルス__年齢群: 10代

クロイツフェルト・ヤコブ病2例

孤発性プリオン病古典型2例

後天性免疫不全症候群11例(AIDS 3例、無症候8例)

感染地域: 国内10例、タイ1例

感染経路: 性的接触10例(異性間3例、同性間6例、異性/同性間1例)、性的接触(同性間)/静注薬物使用1例

ジアルジア症1例 感染地域: 国内(都道府県不明)

梅毒7例(早期顕症I期1例、早期顕症II期3例、無症候3例)

麻しん10例〔麻しん(検査診断例1例、臨床診断例6例)、修飾麻しん(検査診断例)3例〕

感染地域: 国内10例

国内の感染地域: 神奈川県3例、山形県1例、埼玉県1例、東京都1例、新潟県1例、兵庫県1例、鹿児島県1例、沖縄県1例

年齢群: 0歳(2例)、1歳(1例)、2歳(1例)、4歳(1例)、5～9歳(1例)、15～19歳(1例)、20～24歳(2例)、40代(1例)

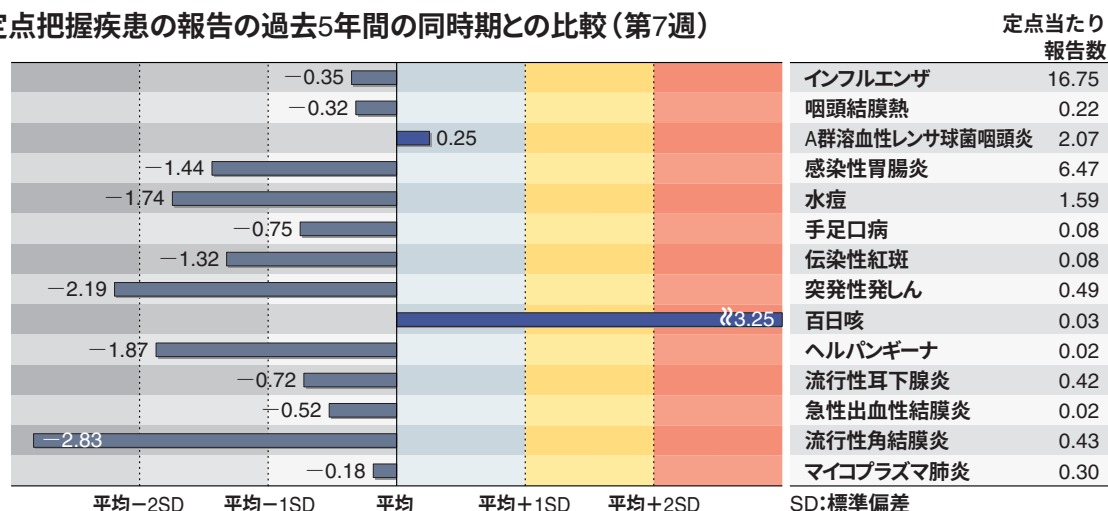
累積報告数: 106例〔麻しん(検査診断例26例、臨床診断例64例)、修飾麻しん(検査診断例16例)〕

(補)他に2009年第6週までに診断されたものの報告遅れとして、急性脳炎5例〔A型インフルエンザウイルス1例(6歳)、ムンプスウイルス1例(30代)、肺炎球菌1例(70代)、A群溶血性レンサ球菌1例(50代、死亡)、病原体不明1例(20代)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例〔40代1例、60代2例(うち1例死亡)〕、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型: *VanB* 菌検出検体: 胆汁、死亡)、風しん1例(臨床診断例、感染地域: 東京都、年齢群: 15～19歳)などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第7週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では香川県(31.3)、新潟県(27.0)、兵庫県(25.7)、富山県(22.9)、長野県(22.6)、愛媛県(22.2)、大阪府(21.7)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は436例と第3週以降減少が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(0.72)、福井県(0.68)、島根県(0.61)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山口県(4.4)、新潟県(4.3)、富山県(4.2)、福井県(4.2)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では福井県(13.3)、山形県(12.0)、三重県(10.4)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(5.4)、宮崎県(4.1)、福井県(3.2)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では青森県(0.81)、秋田県(0.40)、高知県(0.37)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では徳島県(0.23)、神奈川県(0.22)、広島県(0.21)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では長崎県(0.32)、香川県(0.14)、宮崎県(0.11)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(0.15)、宮崎県(0.09)、熊本県(0.08)が多い。

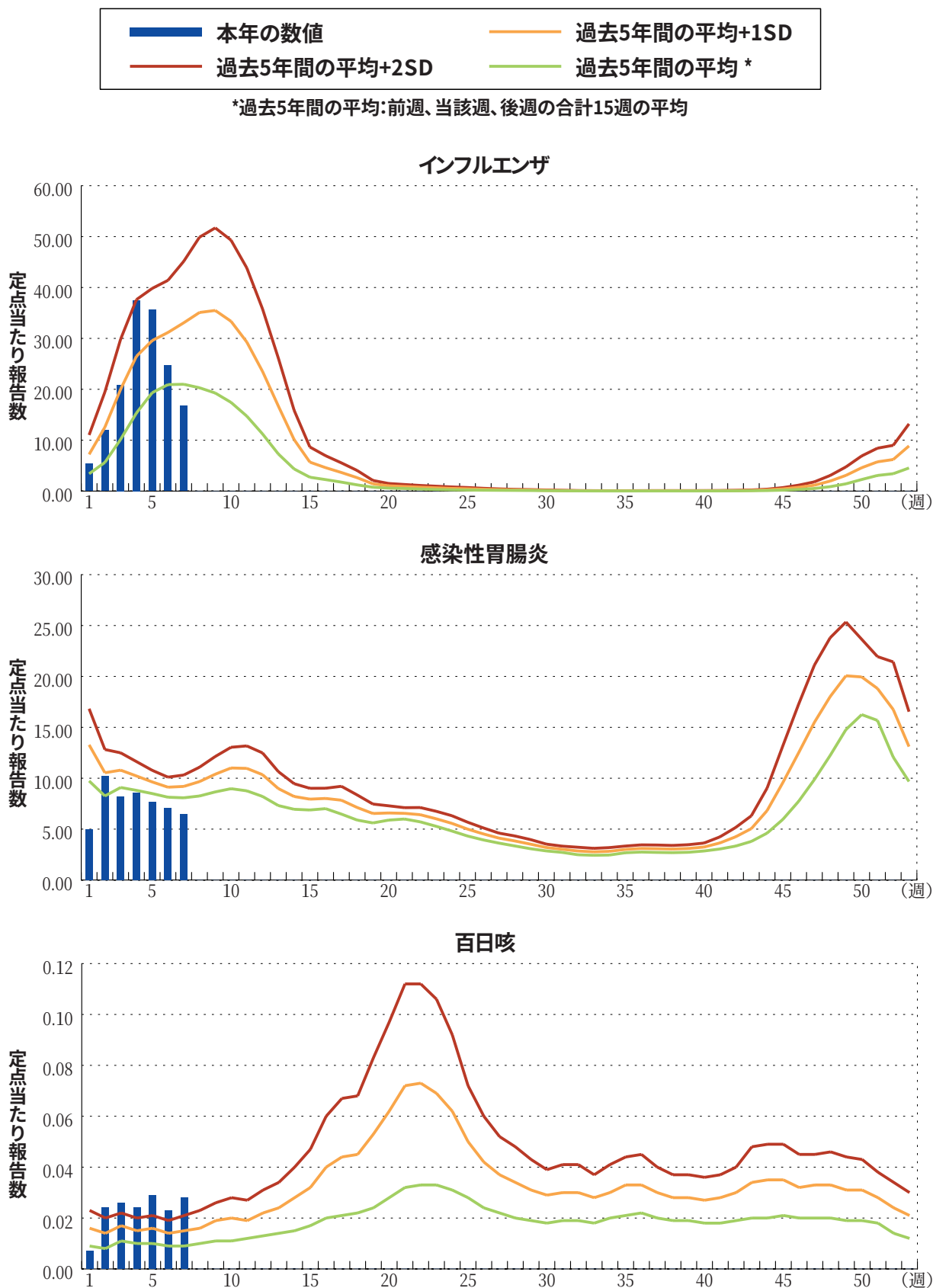
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(2.32)、長崎県(1.57)、高知県(1.37)、福岡県(1.37)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では福島県(2.57)、埼玉県(1.56)、静岡県(1.33)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2009年第1～7週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



〈1月コメント〉

◆性感染症について(2月9日集計分) 性感染症定点数 961

(産婦人科・産科・婦人科：463、泌尿器科：396、皮膚科：88、性病科：14)

●月別推移

2009年1月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が2.23(男1.02、女1.21)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.67(男0.26、女0.40)、尖圭コンジローマが0.42(男0.25、女0.17)、淋菌感染症が0.87(男0.70、女0.17)であった。男性では性器クラミジア感染症、次いで淋菌感染症が多く、女性では性器クラミジア感染症、次いで性器ヘルペスウイルス感染症が多かった(図1)。前月に比べると、男性では、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の4疾患すべてで増加した。女性では、性器クラミジア感染症で増加、性器ヘルペスウイルス感染症で横ばい、尖圭コンジローマと淋菌感染症で減少した(32～35ページ「グラフ総覧」参照)。

過去5年間の同時期と比較すると、男性では尖圭コンジローマと淋菌感染症でやや少なく、性器ヘルペスウイルス感染症でかなり少なかった。女性では性器クラミジア感染症と性器ヘルペスウイルス感染症でやや少なく、尖圭コンジローマでかなり少なかった(図2)。

図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(1月)

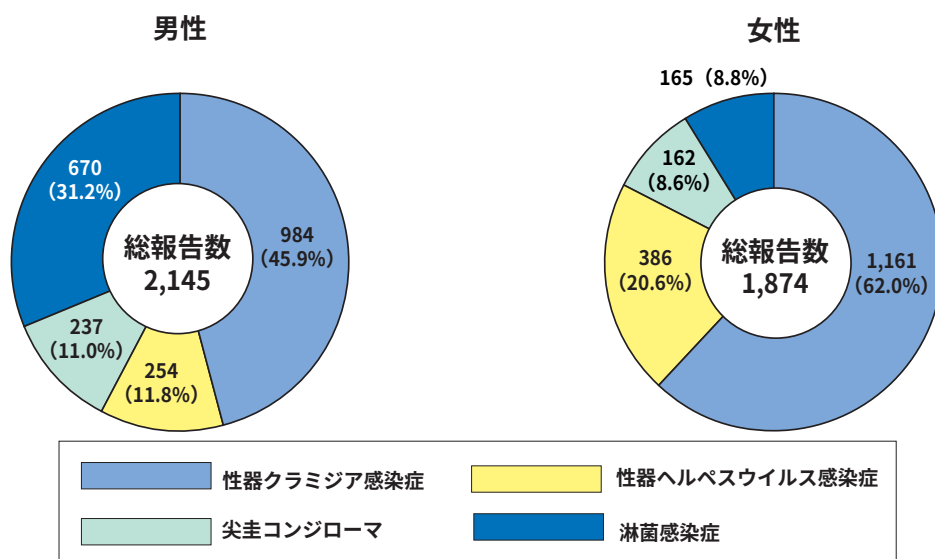
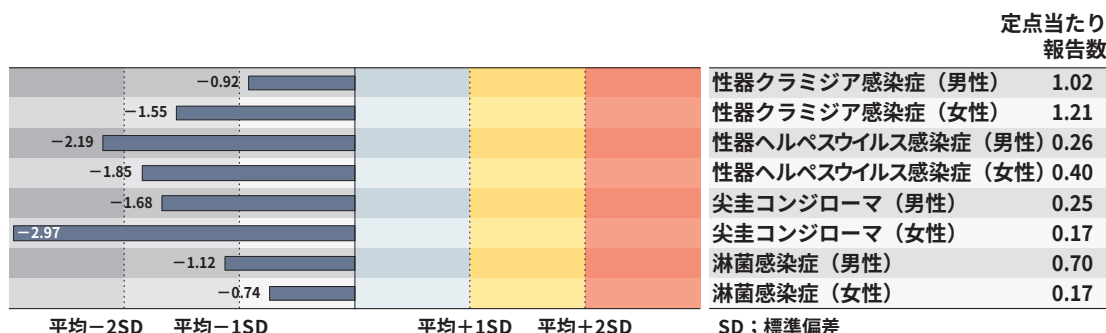


図2. 性感染症の定点当たり報告数の過去5年間の同時期との比較(1月)



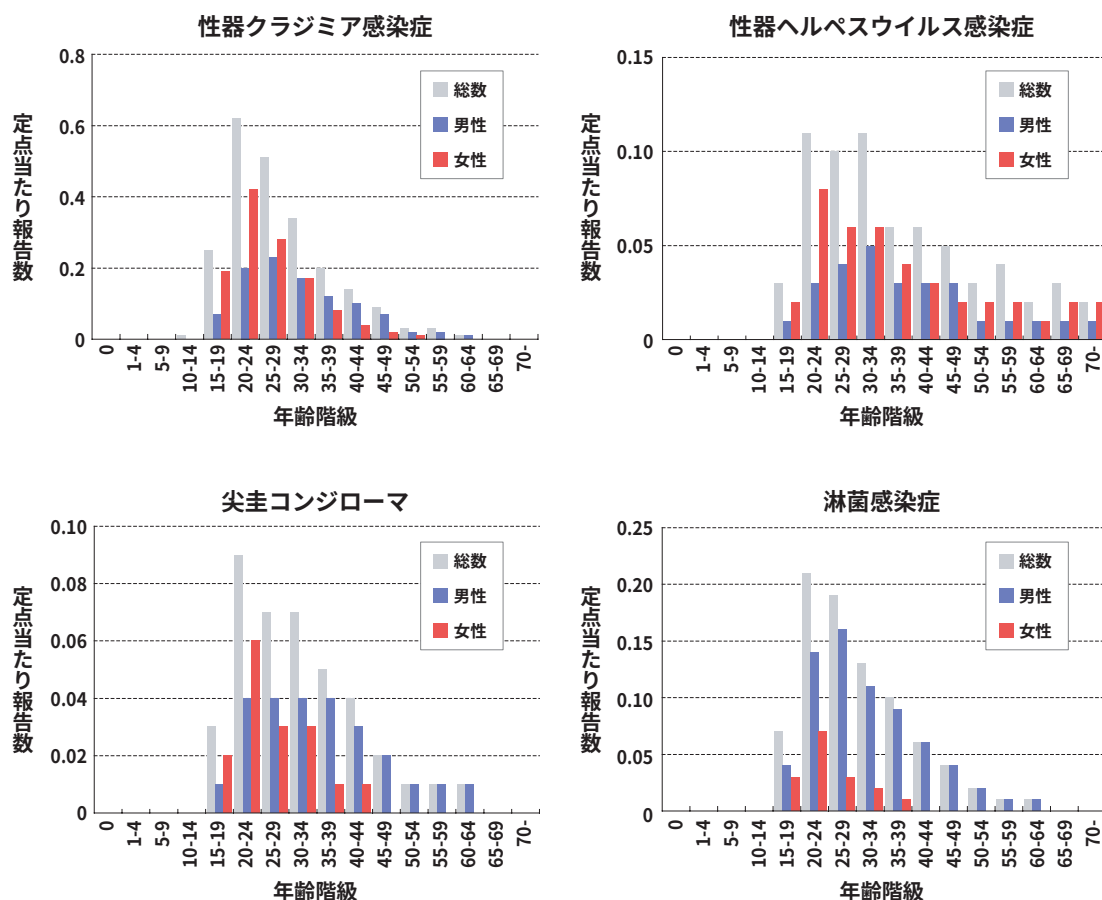
当該月と過去5年間の平均 (過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均) との差をグラフの上に表現した。

●男女別・年齢群別

年齢群(0歳、1～4歳、5～69歳は5歳毎、および70歳以上)でみた定点当たり報告数のピークは、男性では、性器クラミジア感染症は25～29歳の年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症は30～34歳の年齢群、尖圭コンジローマは20～39歳の4つの年齢群、淋菌感染症では25～29歳の年齢群であった。一方、女性では、4疾患すべてで20～24歳であり、全体的にみて女性の罹患年齢が男性に比べてやや若い傾向が認められた(図3)。また、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の3疾患は、男性では60代以降は僅かであり、女性では50代以降の報告はないか、あっても僅かである。しかし、性器ヘルペスウイルス感染症は男女ともに、50代以降の報告も少なくない。この年齢層は再発例が含まれている可能性が以前から指摘されており、2006年4月の届出基準改正により、抗体のみ陽性のものの除外に加えて「明らかな再発例は除外する」ことが明示された。しかし、報告数や年齢群分布において明らかな変化は見られておらず、この基準変更の周知徹底が必要と考える。

年齢群毎にみた定点当たり報告数の男女の比較では、淋菌感染症では、すべての年齢群で男性が女性よりも多かった。一方、性器クラミジア感染症では15～29歳の3つの年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症では15～39歳、50～59歳、65～69歳、70歳以上の9つの年齢群、尖圭コンジローマでは15～24歳の2つの年齢群の、比較的低い年齢層を中心に女性が男性よりも多かった。ただし、性感染症定点は泌尿器科系、婦人科系および皮膚科系などの診療科から構成されており、男女の比較についてはそれらの比率の影響を受ける可能性がある。

図3. 性感染症の性別・年齢群分布(1月)

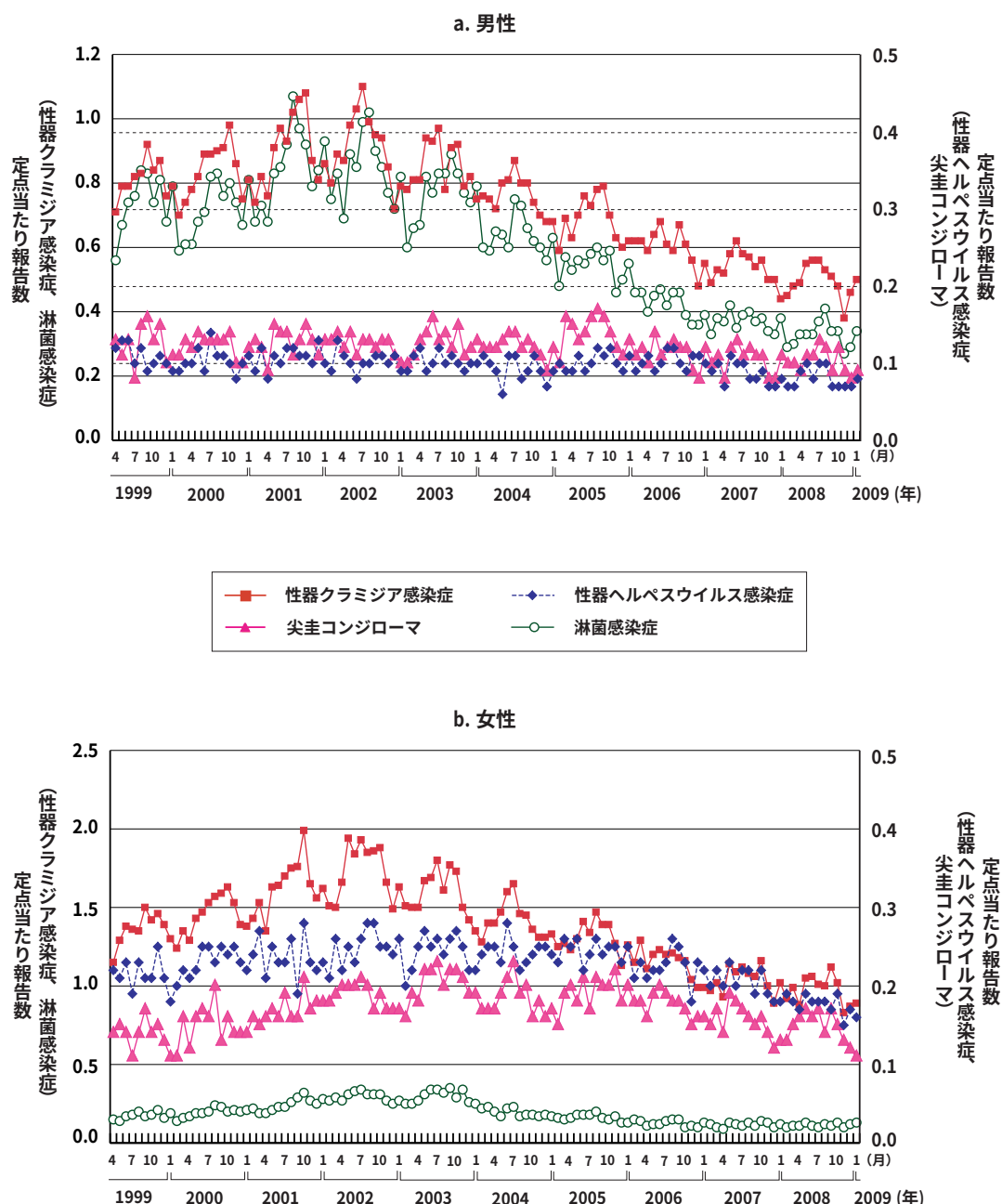


●若年層での推移

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年層(15～29歳)における各疾患の定点当たり報告数を男女別・月別に図4に示した。性器クラミジア感染症と淋菌感染症は男女ともに2003年以降減少傾向がみられる。一方、性器ヘルペスウイルス感染症と尖圭コンジローマは、男女ともにこの間全体としてはほぼ横ばいの状況であるが、女性において2005年半ば頃からやや減少傾向がみられる。

前月との比較では、男性では4疾患すべてで増加した。女性では性器クラミジア感染症で増加、性器ヘルペスウイルス感染症で減少、尖圭コンジローマで減少、淋菌感染症で増加した。

図4. 若年層における性感染症の年別・月別推移
(15～29歳、1999年4月～2009年1月)



◆薬剤耐性菌感染症について(2月9日集計分)

基幹定点：464

●定点当たり報告数

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

4.24(前月:4.26、前年同月:4.47)

定点当たり報告数は、例年年間を通じてほぼ一定である。1月は前月よりやや減少したが、過去9年間の同月との比較では上位に属した。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

0.83(前月:1.29、前年同月:0.83)

定点当たり報告数は、例年春から初夏にかけて(4～6月)と冬(11、12月)に多く、夏(7～9月)に少なく推移している。1月は前月より大幅に減少し、過去9年間の同月との比較では最下位だった。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.08(前月:0.08、前年同月:0.07)

定点当たり報告数は、例年後半が前半に比して多い傾向がある。1月は前月よりやや減少し、過去9年間の同月との比較では下位に属した。

●年齢階級別

MRSA感染症…高齢者に多く、70歳以上が全体の68%を占めている(図1)。

PRSP感染症…小児と高齢者に多い。5歳未満が全体の60%を占める一方、70歳以上が全体の25%を占めている(図2)。

薬剤耐性緑膿菌感染症…高齢者に多く、70歳以上が全体の68%を占めている(図3)。

●性別(女性を1として算出した男女比)

MRSA感染症…男:女=1.8:1

PRSP感染症…男:女=1.2:1

薬剤耐性緑膿菌感染症…男:女=1.5:1

●都道府県別

MRSA感染症…定点当たり報告数は新潟県(8.1)、沖縄県(7.9)、山口県(7.8)が多い。

PRSP感染症…定点当たり報告数は千葉県(5.1)、高知県(3.4)、埼玉県(3.0)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症…報告総数が38件にとどまるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難である。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

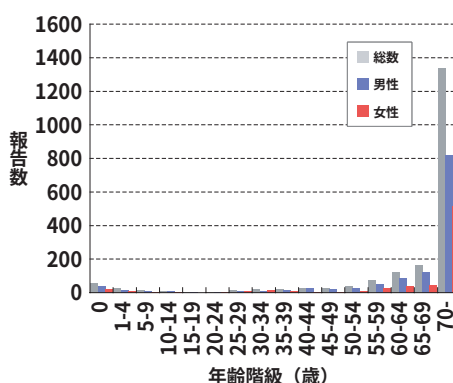


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

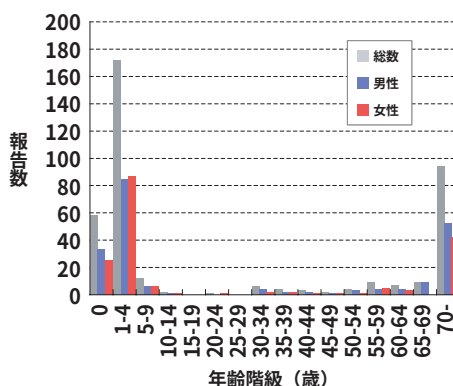
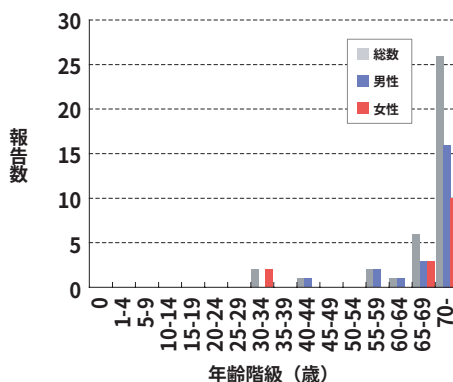


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症





注目すべき感染症

◆インフルエンザ

インフルエンザ (Influenza) は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。1～3日間の潜伏期間を経て、突然に発熱 (38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。合併症等がなければ、約1週間の経過で軽快するものの、とくに高齢者や、基礎疾患を持っている場合などでは原疾患の悪化と共に、二次的な細菌性肺炎を起こす場合がある。また、小児では中耳炎の合併や熱性痙攣、気管支喘息の誘発を招く場合がある。更に乳幼児を中心とした小児においては、稀ではあるものの急性脳症 (インフルエンザ脳症) を合併する場合がある。

感染症発生動向調査によると、2009年第7週のインフルエンザの定点当たり報告数は16.75 (報告数80,102) となり、第5週以降3週連続で減少した (図1)。都道府県別では香川県 (31.3)、新潟県 (27.0)、兵庫県 (25.7)、富山県 (22.9)、長野県 (22.6)、愛媛県 (22.2)、大阪府 (21.7)、徳島県 (21.5)、高知県 (21.4) の順であるが、全ての都道府県で前週よりも報告数の減少がみられている (図2、図3)。2008年第36週～2009年第7週までの定点当たり累積報告数は171.65 (累積報告数813,809) であり、年齢別では5～9歳260,713例 (32.0%)、0～4歳185,243例 (22.8%)、10～14歳130,396例 (16.0%)、30～39歳70,617例 (8.7%) の順となっているが、5～9歳の年齢群が最多を占め、14歳以下の報告割合が全体のほぼ70%に達していることは例年と同様である (図4)。第36週以降のインフルエンザウイルスの分離報告数は長崎県を除く46都道府県から2,809件あり、その内訳はAH1亜型1,576件 (56.1%)、AH3亜型898件 (32.0%)、B型335件 (11.9%) となっており、検出されたAH1亜型ウイルスの大半がリン酸オセルタミビルに対する耐性遺伝子を有していることが確認されている (インフルエンザウイルス分離・検出速報 : <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html>) (図5、図6)。

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況 (1999～2009年第7週)

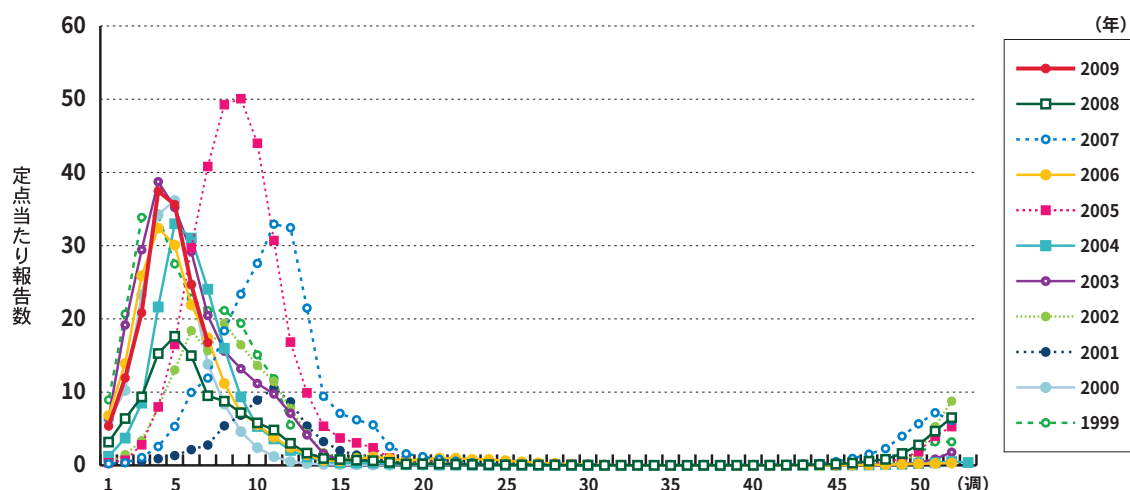


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2009年第7週)

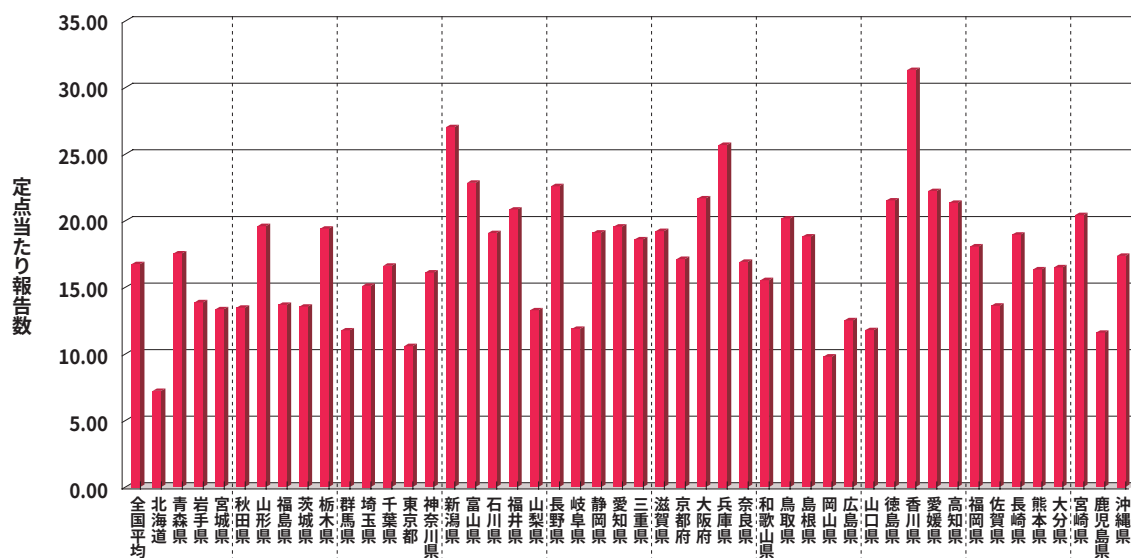


図3. 主要都道府県におけるインフルエンザの週別推移(2008年第36週～2009年第7週)

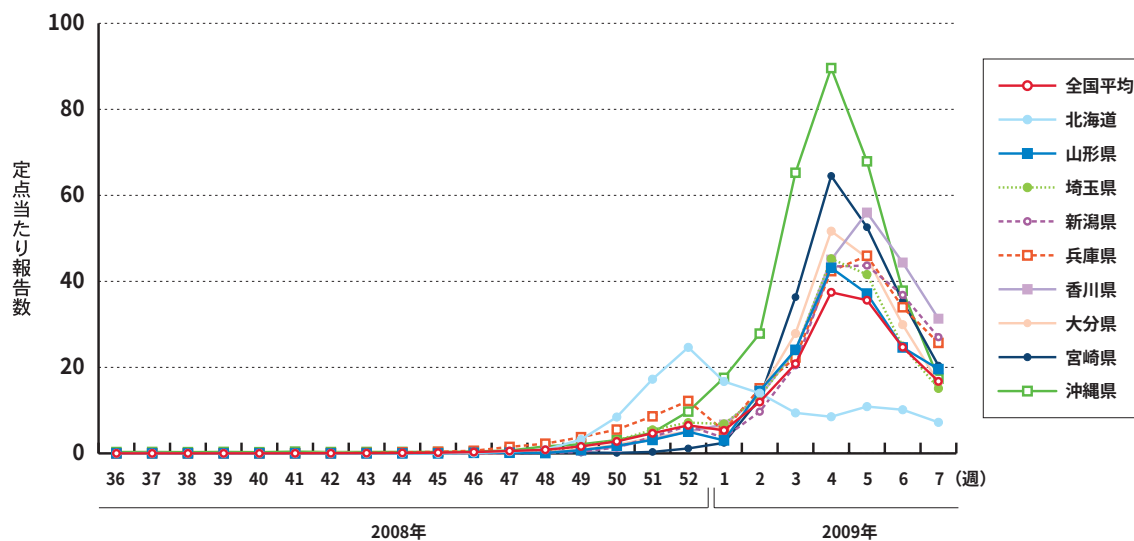


図4. 2008/09シーズンのインフルエンザ累積報告数の
年齢群別割合 (2008年第36週～2009年第7週)

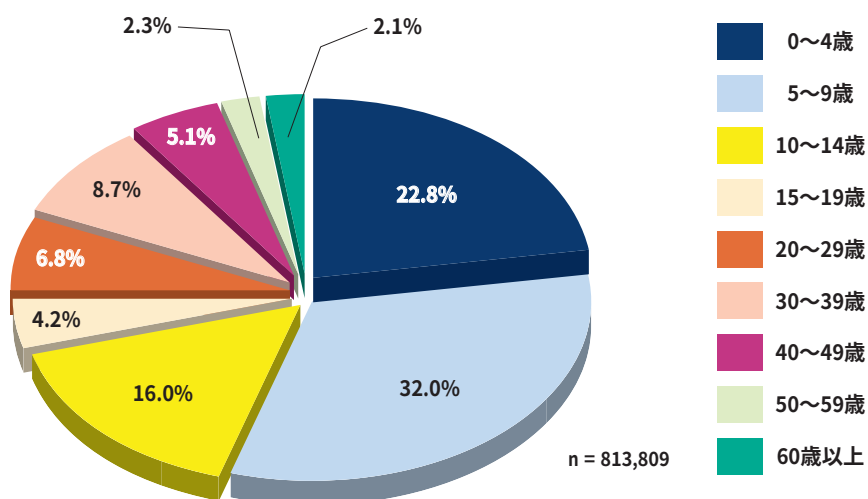


図5. インフルエンザウイルス型別分離・検出割合報告 (2008年第36週～2009年第7週)
(病原微生物検出情報: 2009年2月19日現在報告数)

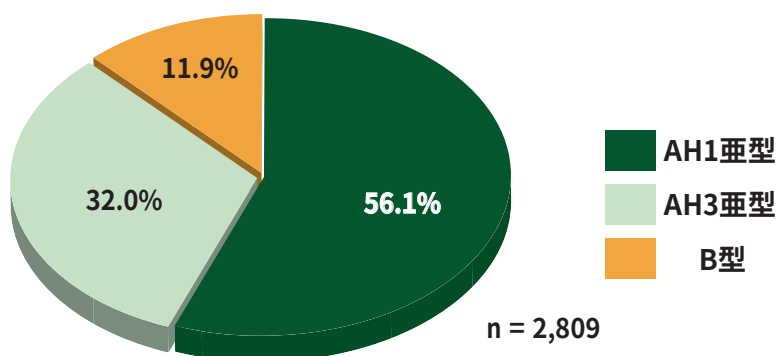
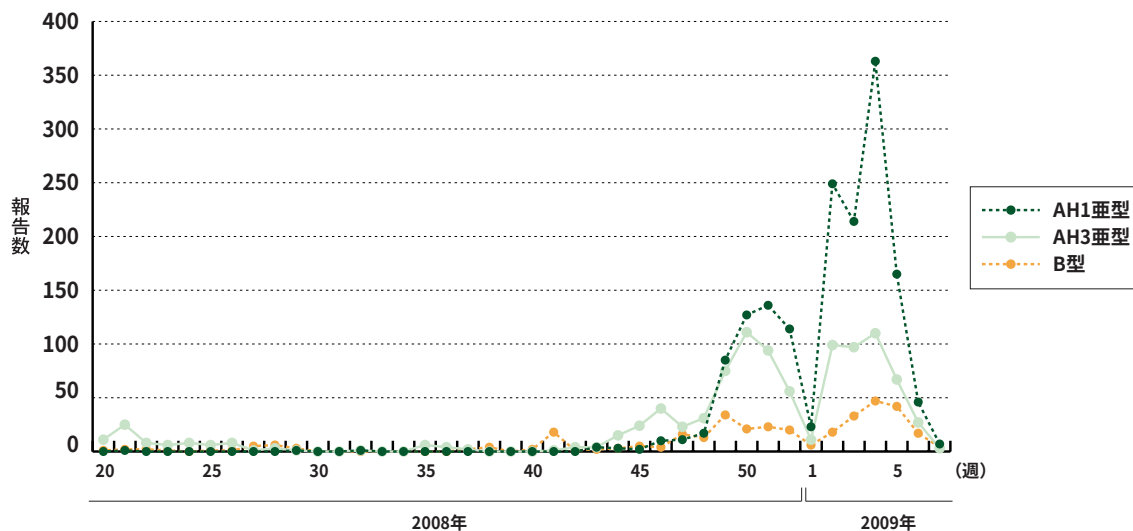


図6. インフルエンザウイルス分離・検出報告数の週別推移(2008年第20週～2009年第7週)
(病原微生物検出情報: 2009年2月19日現在報告数)



今シーズンのインフルエンザの全国的な流行は2008年第49週(定点当たり報告数1.62)から開始し、冬季休暇中に一旦報告数が減少した後の2009年第4週に定点当たり報告数は37.45(報告数178,991)と今シーズン最高となり、その後第5週以降3週連続して報告数は減少した。今シーズンのインフルエンザの流行は、そのピークを過ぎ去りつつあるものの、まだ国内の広範な地域において、その流行は継続しており、今しばらくはインフルエンザの発生動向には注意が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2009年2月19日現在報告分)

◆インフルエンザウイルス 2008/09シーズン

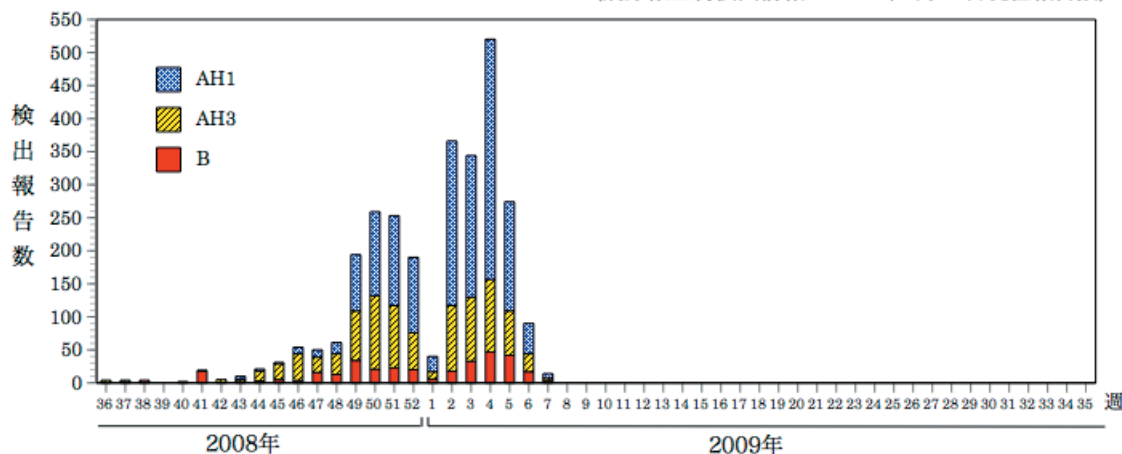
2008年第49週以降報告数が増加しており、2009年に入ってからAH1亜型の報告が多くなっている。2009年第7週までにAH1亜型が44都道府県から1,576件、AH3亜型が43都道府県から898件、B型が38都道府県から335件の分離・検出が報告されている。

直近の4週間(第4～7週)にはAH1亜型が北海道、静岡県各49件、島根県38件、広島県31件、長野県、兵庫県各28件、岐阜県24件、福井県、香川県各23件、大阪府22件、熊本県19件、山梨県、高知県各18件、宮城県、奈良県各16件、神奈川県15件、愛知県14件、茨城県13件、青森県、千葉県各12件、新潟県11件など、計581件、AH3亜型が岐阜県31件、兵庫県25件、広島県23件、島根県22件、静岡県17件、大阪府12件、高知県10件、北海道、愛媛県各6件など、計207件、B型が大阪府13件、兵庫県10件、静岡県、福岡県各8件、神奈川県、広島県各7件、長野県、愛媛県各6件、島根県、香川県、熊本県各5件など、計110件(ビクトリア系統100件、山形系統4件、不明6件)の分離・検出が報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2008/09シーズン

(病原微生物検出情報: 2009年2月19日現在報告数)

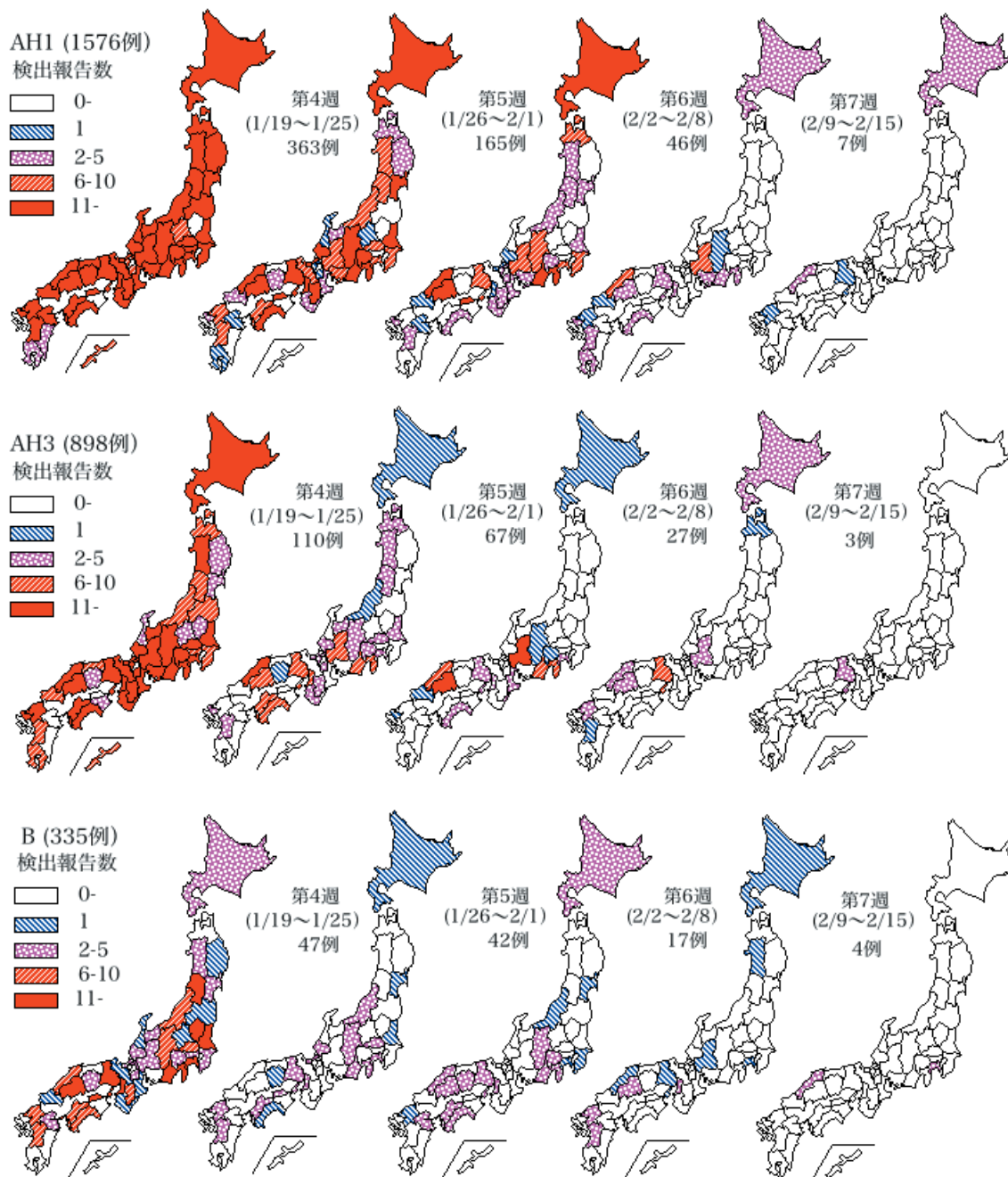


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2008/09シーズン
(病原微生物検出情報：2009年2月19日現在報告数)



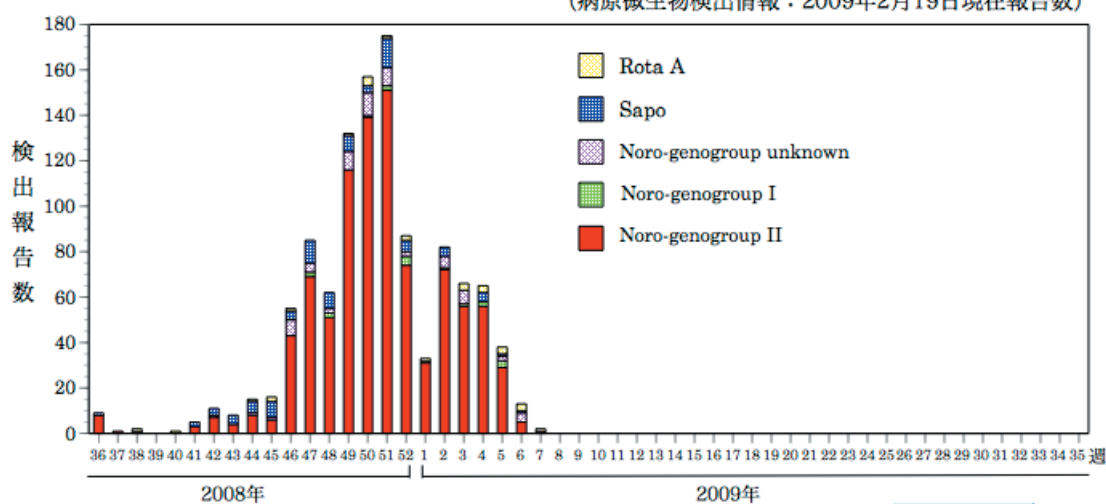
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

◆感染性胃腸炎関連ウイルス 2008/09シーズン

2008年第46週以降、ノロウイルスgenogroup IIの報告が増加している。病原体個票では2008年第36週～2009年第7週までにノロウイルスgenogroup (G)I 19件、GII 931件、G不明61件、サポウイルス81件、A群ロタウイルス28件、アストロウイルス16件の検出が報告されている。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2008/09シーズン

(病原微生物検出情報: 2009年2月19日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

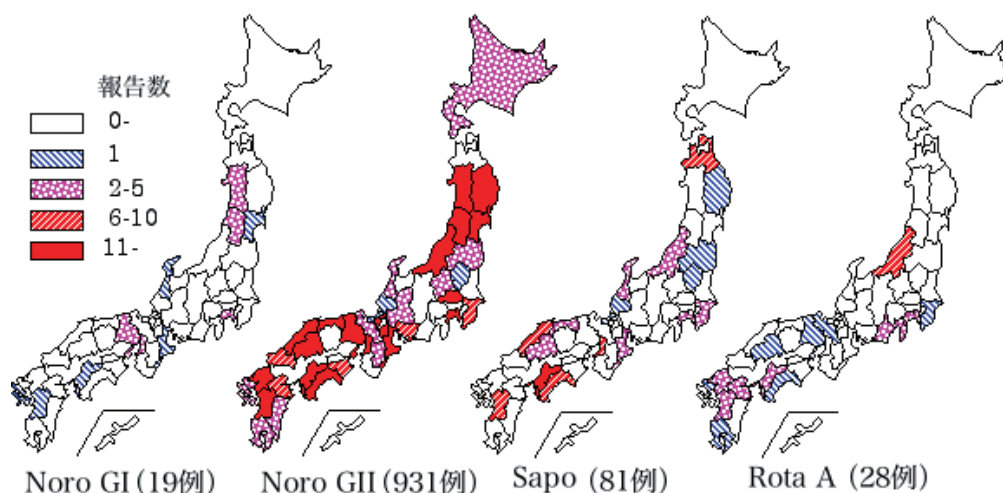
IASR

Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、

2008/09シーズン

(病原微生物検出情報: 2009年2月19日現在報告数)



Noro GI (19例)

Noro GII (931例)

Sapo (81例)

Rota A (28例)

*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

ノロウイルス: GI/NT 神奈川県5件、秋田県、山形県、大阪府、兵庫県各2件、宮城県、石川県、三重県、愛媛県、長崎県、熊本県各1件、計19件、GII/NT 神奈川県211件、熊本県69件、大阪府66件、愛媛県50件、滋賀県46件、高知県45件、福岡県39件、山形県34件、岩手県29件、秋田県27件、鳥取県24件、広島県16件、島根県15件、兵庫県14件、三重県12件など、計769件。GII/2 大阪府4件、千葉県1件、計5件。GII/3 千葉県3件、宮城県2件、計5件。GII/4 大阪府49件、福岡県31件、新潟県17件、大分県8件、宮城県7件、埼玉県、滋賀県各4件、佐賀県3件、千葉県2件、栃木県1件、計126件。GII/6 滋賀県13件、大阪府7件、千葉県、新潟県各2件、計24件。GII/12 福井県、福岡県各1件、計2件。

サポウイルス: G不明 愛媛県12件、青森県10件、高知県、熊本県各8件、島根県6件、鳥取県5件、神奈川県、三重県、大阪府、広島県各4件、千葉県、石川県各2件、岩手県、栃木県各1件、計71件。GI 新潟県、大阪府各3件、福島県、福井県、熊本県各1件、計9件。GII 熊本県1件。

A群ロタウイルス: NT 福岡県4件、熊本県3件、神奈川県、愛媛県、大分県各2件、千葉県、京都府、兵庫県、広島県、高知県、佐賀県、鹿児島県各1件、計20件。G1 静岡県2件。G3 新潟県5件。G9 新潟県1件。

アストロウイルス: NT 熊本県8件、神奈川県4件、大阪府2件、福島県1件、計15件。1型 三重県1件。

また、集団発生病原体票ではノロウイルス集団感染事例が157事例報告されている(genogroup II 135事例、genogroup I 5事例、genogroup I+II 1事例、genogroup不明16事例)。genogroup IIの遺伝子型別ではGII/4が37事例、GII/6が10事例、GII/2、GII/3、GII/13が各1事例、genogroup Iの遺伝子型別では、GI/4が3事例報告されている。

推定感染経路は保育所・幼稚園、小学校、福祉施設・老人施設、病院、飲食店などでの人→人感染が疑われる胃腸炎集団発生が67事例、食中毒および有症苦情が61事例、その他・詳細不明29事例である(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)。



◆麻しん風しん第3期・第4期接種率向上の取り組み事例－2 ◆平成20年度第3期・第4期麻しん風しん予防接種の取り組みについて

市立函館保健所健康づくり推進室健康増進課

<はじめに>

麻しんの発生予防には予防接種率の向上が重要であることから、函館市としては集団接種が効果的であると判断し、第3期については中学校を、第4期については保健所を会場に実施することとした。その結果、平成20年9月末現在の接種率は、第3期88.5%、第4期71.4%で、目標の95%には及ばなかったが、比較的高い接種率を確保することができたので、取り組みについて報告する。

<函館市の第3期、第4期 実施計画>

下記の実施計画に沿って、教育委員会、中学校校長会、高等学校長および函館市の予防接種事業についての情報や意見交換をする場である予防接種連絡会の委員へ説明を行い、理解・協力を要請した。

また、国立および私立中学校には、近隣市町村の生徒も通学していることから、相互に接種依頼文のある者については無料接種での対応とした。

	第3期	第4期
実施方法	中学校を会場とした集団接種 (市立28校、国立1校、私立3校) 32校	保健所における集団接種
	保健所長が特に認める者については、委託医療機関での個別接種	
周知方法	個別通知、市広報紙、ポスター掲示等	
	個別通知後、学校毎にリーフレットを作成し、 学校から保護者へ配布、接種勧奨を依頼	個別通知後、学校へ接種勧奨を依頼
実施時期	5月～8月	5月～8月
実施可能日 及び回数	月、火、水曜日のいずれも半日間 合計32回 (医師等は接種終了後30分待機)	毎週火曜日 16:30～18:30 16回 第1・3日曜日 9:00～11:00 8回 合計24回 (接種を受けた者は30分待機)
	接種後の副反応等で医療機関を受診することが考えられるため、金曜日は原則予防接種を実施しない。	
スタッフ体制	○ 医 師：保健所医師2名、協力医4名 ○ 保健師：職員20名 ○ 看護師：職員1名、嘱託職員3名、臨時職員8名 ○ 事務職：職員5名	
安全・救急体制	○ 第3期では、保護者署名及び予診票に未記入がある場合は接種しない。 (後日保健所で接種とする。) ○ 第4期の問診は、女性は個室対応 ○ 応急治療措置として、血圧計、静脈路確保用品、輸液、エピネフリン、抗ヒスタミン剤、抗けいれん剤、副腎皮質ステロイド剤等の薬液、喉頭鏡、気管チューブ、蘇生バック等を準備する。 ○ 救急搬送が必要となる場合に備え、消防署との連携。 ○ 学校医へ、接種日程についてのお知らせ	

＜第3期における具体的な取り組み内容＞

学校を会場とした集団予防接種に対し、学校現場からは、生徒の安全性の確保に十分配慮するようにとの申し入れがあり、応急治療措置として救急処置物品の準備のほか、消防署および学校医へ予防接種日程の通知を行うなど、情報の共有を図った。

また、予防接種日の2～3週間前には、各校に出向き、保護者への接種勧奨リーフレットの配布依頼と、当日の流れや接種会場の確認・調整などを行い、学校側の精神的負担の解消に努めた。学校側の協力は、接種会場に生徒を誘導することと、接種後体調を崩した場合に保健室を利用させてもらうことのみとした。

接種当日の流れは、保健師および看護師による問診・体温測定(耳温計)のあと、医師による診察(問診票の確認、口腔内視診)、看護師による接種、保健師または事務職員による接種後の注意事項の説明と接種済証の交付のほか、予防接種後健康状況調査への依頼を行った。接種終了後は、医師1名、看護師2名、保健師1名が学校に待機(30分)し、副反応出現時の対応に備えたが、重篤な副反応は認められなかった。

なお、職員は、学校規模に応じて配置した。

＜第4期における具体的な取り組み内容＞

第4期については、実施回数の24回を町別に振り分けて個別通知し、受診数が偏らないよう配慮するとともに、高校に対しては、4月と8月に接種勧奨の依頼を行った。

また、自家用車で片道1時間程かかる高校については、学校と協議の上、中学校で接種を行う日に、高校に近い地区センターを接種会場にして、時間差で実施した。

接種当日の流れは第3期とほぼ同じであるが、女子生徒への問診は個室対応とした。

第4期については、学校を会場とした集団接種ではなかったため接種率を危惧したが、比較的高い接種率を確保できた。

＜取り組み体制＞

予防接種を担当する母子保健担当は、予防接種業務のほか、乳幼児健診や赤ちゃん訪問事業などの母子保健事業全般を担いながらのMR第3期・第4期の集団接種であったため、担当だけでは事業を行うことは難しく、課全体で取り組むこととした。

また、MR第3期・第4期に関する基本的な知識や接種に関する学習会を開催し、従事する職員全員が一貫した対応ができるように準備を行った。

実施にあたっては、実施状況に応じた臨機応変な対応ができるように、スタッフ配置には必ず「フリーの者」を1～2名配置した。

＜おわりに＞

予防接種は、「原則、個別接種」となっていることから、集団接種に対しては、関係機関等から多くの意見・要望が出され、その対応に苦慮することもあったが、最終的には、「子どもたちを麻しんから守る」という目的のもと、集団接種を実施することができた。ご協力をいただいた全ての関係者に感謝申し上げます。

今後は、11月に、再度、未接種者に対する個別勧奨と教育委員会や各学校長への接種勧奨依頼を行うとともに、12月には保健所を会場に追加の予防接種を実施する予定である。

なお、第3期接種者を対象に実施した「予防接種後健康状況調査」には、1,002人の回答を得

ることができ、その結果、接種後何らかの体調の変化(副反応)を認めた者は71名(7.1%)で、その主な内訳としては、発熱2.4%、局所反応2.7%、発疹0.3%であったことを報告する。

◆日本のHIV感染者・AIDS患者の状況 (平成20年9月29日～12月28日)

平成21年2月18日
厚生労働省健康局疾病対策課

第116回エイズ動向委員会委員長コメント

【平成20年第4四半期】

【概要】

1. 今回の報告期間は2008(平成20)年9月29日～12月28日までの約3か月。
2. 新規HIV感染者報告数は292件(前回報告294件、前年同時期277件)で、過去2位。うち男性275件、女性17件で、男性は前年同時期(264件)より増加し、女性は前回(12件)および前年同時期(13件)より増加した。
3. 新規AIDS患者報告数は110件(前回報告119件、前年同時期95件)で、過去4位。うち男性104件、女性6件で、男性は前回と同数で前年同時期(84件)より増加。女性は前回(15件)および前年同時期(11件)より減少。
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は402件で過去2位である。

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが211件(全HIV感染者報告数の約72%)と最多、そのうち202件が日本国籍男性。
 - 異性間性的接触によるものが57件(全HIV感染者報告数の約20%)、そのうち男性43件、女性14件。
 - 年齢別では、特に20～30代が多いが、40代以上も前回および前年同時期より増加した。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが51件(全AIDS患者報告数の約46%)。
 - 異性間性的接触によるものが38件(全AIDS患者報告数の約35%)。そのうち男性33件、女性5件。
 - 年齢別では、特に30代以上に多い。

【検査・相談件数の概況(平成20年10月～12月)】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数は41,238件、自治体が実施する保健所以外の検査件数は8,538件、保健所等における相談件数は63,426件。前年同時期に比べ、抗体検査数・相談件数ともに増加。

【献血の概況(平成20年1月～12月)】

1. 献血件数(速報値)は5,077,238件(前年4,939,550件)。
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数は107件(前年102件)。10万件当たりの陽性件数は2.107件(前年2.065件)。前年より増加。

【平成20年年間報告(速報値)】

【概要】

1. 今回の報告期間は2007(平成19)年12月31日～2008(平成20)年12月28日までの約1年。
2. 新規HIV感染者は1,113件で過去最高。
3. 新規AIDS患者は432件で過去最高。
4. 合計は1,545件(一日あたり約4.2件)で過去最高。

※平成19年(速報値)HIV感染者1,048件、AIDS患者400件、合計1,448件。それまでの最高。

※平成19年(確定値)HIV感染者1,082件、AIDS患者418件、合計1,500件。それまでの最高。

【感染経路・年齢等の動向(速報値)】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが772件(全HIV感染者報告数の約69%)と最多。
 - 異性間性的接触によるものが219件(全HIV感染者報告数の約20%)。
 - 年齢別では、特に20～30代が多いが、40代以上も前年より増加した。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが192件(全AIDS患者報告数の約44%)。
 - 異性間性的接触によるものが146件(全AIDS患者報告数の約34%)。
 - 年齢別では、特に40代以上に多く、50歳以上で大幅に増加。

【検査・相談件数の概況(平成20年1月～12月)】

1. 保健所等におけるHIV抗体検査件数(確定値)は、177,156件(前年153,816件)で過去最高。
平成19年よりも約2万3千件増加。
2. 相談件数は230,091件(前年214,347件)で平成19年より約1万6千件増加。

【まとめ】

1. 感染経路別に見ると、男性同性間性的接触がさらに増加し、年齢分布は拡大傾向にある。
こうした動向を踏まえ予防普及啓発を重点的に強化していく必要がある。
2. 国民はHIV・AIDSについての理解を深め、身近な問題として積極的に予防に努めるべきである。早期発見は、個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。
3. 各自治体においては、さらに利用者の利便性(夜間・休日・迅速検査)に配慮した検査・相談事業を推進し、予防に関する普及啓発に努めることが重要であり、HIV感染の早期発見による適切な治療の促進と感染拡大の抑制に努める必要がある。

(IASR 2009年3月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

●コンゴ民主共和国でのエボラ出血熱流行の終息

WHO/EPR 2009年2月17日

2009年2月16日、コンゴ民主共和国保健省はKasai Occidental州Mweka地区、およびLuebo地区のエボラ出血熱の流行の終息を宣言した。最後にエボラウイルスに感染した患者は2009年1月1日に死亡しており、エボラウイルスの最大潜伏期間の2倍以上の期間(42日)が過ぎたことになる。

2月17日現在、保健省は15名の死亡者を含む32例の罹患者を報告しており、この32例には確定例だけでなく、可能性例、疑い例も含まれている。この流行の期間中、エボラウイルス感染の検査室診断はキンシャサのInstitut National de Recherches Biologiques (INRB)、ガボンのthe Centre International de Recherches Médicales de Franceville (CIRMF)、南アフリカ共和国のthe National Institute for Communicable Diseases (NICD)において行われた。

WHOの国事務局、地域事務局、本部はキンシャサにある保健省および流行の現場で対応したチームをサポートした。流行への対応は国際的に行われ、ユニセフ、国連コンゴ民主共和国ミッション(MONUC)、国連世界食糧計画(WFP)が関与し、国際カリタス(ベルギー)、コンゴ民主連合、国際赤十字からのサポート、およびアウトブレイクの警戒と対応の世界的ネットワーク(GOARN)のパートナーであるカナダ公衆衛生局(PHAC)のカナダ国立微生物学研究所(NML)、CIRMF、NICD、国境なき医師団の協力の下に行われた。

●鳥インフルエンザーベトナムにおける状況

WHO/EPR 2009年2月18日ー更新2

ベトナム保健省は鳥インフルエンザウイルスH5N1亜型の新たなヒト感染確認症例を報告した。症例は国立衛生疫学研究所(NIHE)によって確認された。

症例はNinh Binh省Kim Son地区の32歳男性である。男性は2009年2月5日に発症し、2月13日に入院した。男性は現在重体である。この症例は発症前の直近に病鳥との接触があったことが知られている。

さらなる調査が現在行なわれている。制圧のための対策がとられ、濃厚接触者が同定され監視されている。

ベトナムで現在までに確認された109例のうち、52例が死亡している。

●ナイジェリアでの髄膜炎菌感染症流行

WHO/EPR 2009年2月19日

2009年2月8日、ナイジェリア連邦共和国保健省は全国の35ある州のうち19の州と首都アブジャにおいて死亡例108例を含む合計1,364例(致死率7.9%)の髄膜炎菌感染症疑い症例を報告した。現在のところ8つの州の30の地方自治区で本疾患の流行を示す基準値を超えている。先週だけで11の地方自治区で流行基準値を超え、全国で死亡例40例を含む600例の疑い症例が報告された。

Jigawa州から採取された脳脊髄液検体から、ラテックス凝集検査で髄膜炎菌血清群A群(Neisseria meningitidis serogroup A)が陽性となった。流行性髄膜炎制御ワクチン備蓄国際協調グループ[The International Coordinating Group (ICG) on Vaccine Provision for Epidemic Meningitis Control]はJigawa州の中でも最も患者の多い2つの自治区に対して集団ワクチン接種キャンペーン用として268,750接種分の髄膜炎菌多糖体ワクチンの供給を認めた。

WHOはナイジェリア連邦共和国保健省がICGに対して、国内の他の流行地へもワクチン提供を行うよう要望書を提出できるように支援すると共に、疫学調査、および検査室診断に基づくサーベイランスの強化とデータの管理をサポートしている。

●ジンバブエでのコレラ流行

WHO/EPR 2009年2月20日—更新2

2008年8月から2009年2月18日の間にジンバブエ共和国保健省は3,731名の死亡者を含む79,613人のコレラ感染疑い症例を報告した(致死率4.7%)。国内すべての行政区画(10州)で発生がみられた。先週の報告患者数は先々週の患者数よりも減少しているが、新しい情報が入ってくるたびに変更されるので引き続き推移を注意して見守る必要がある。

致死率は1月上旬からコンスタントに減少しているが、それでも先週の致死率は3.1%と通常の1%をはるかに上回っている。ほぼ半数の死亡者は医療機関外で死亡している。

365あるコレラ治療センター(CTCs)とコレラ治療ユニット(CTUs)はすべての州において活動を続けており、各センターの致死率も前年12月下旬の4%から、最近の3週間は1～2%へと減少している。

近隣諸国、特に南アフリカ共和国でもコレラ患者の報告数は増加しているが、比較的医療機関が充実しているため、致死率は1%以下に抑えられている。そのほかマラウイ共和国、モザンビーク共和国、ザンビア共和国などからもコレラ患者の報告があるが、これらの国々ではコレラは風土病(endemic)である。

WHOは保健省や公衆衛生、水質・下水管理面で協力関係にあるグループと共同で首都ハラレにコレラコントロールセンターを設立した。センターの役割は、疫学や検査室サーベイランス、患者管理、社会動員、物流、医療施設での感染症コントロールや水質、衛生のコントロールである。保健省との協力のもと、警戒と対応のチームが設立され、毎日症例数と死亡者数が報告されるようになった。このシステムは新しいアウトブレイクを至急周囲に通知することも可能である。また、コレラの感染コントロールに関するトレーニングを中央や地方の保健省のスタッフやパートナー関係にある団体の職員に提供している。

WHOの公衆衛生、上下水管理、物流そして社会動員の専門家が、ハラレにあるWHO国事務局、準地域に展開する地域間支援チーム、WHOアフリカ地域事務局、そしてWHO本部よりコレラアウトブレイク地域へ派遣された。アウトブレイクの警戒と対応の世界的ネットワーク(GOARN)に参加している研究所(Burnet Institute in Australia; the London School of Hygiene and Tropical Medicine and Health Protection Agency in the UK; the International Centre for Diarrhoeal Disease Research, Bangladesh; US Centers for Disease Control and Prevention; and the National Board of Health and Welfare, Sweden)からもジンバブエにおけるWHOの活動をサポートするために専門家が派遣された。WHOは下痢症対応キット、緊急健康キット、そのほか医薬品を現地に供給している。

流行の勢い、荒廃した上下水設備、そして貧弱な医療システムを考慮に入れると効果的な介入を行うことは非常に厳しい。現在の課題は、NGOの支援も届いていない地域への介入活動の拡大と社会動員強化による医療施設への早期受診、早期治療である。また、アウトブレイク発生地域での資源の流通とパートナーのさらなる関与についても強化していく。



感染症の話

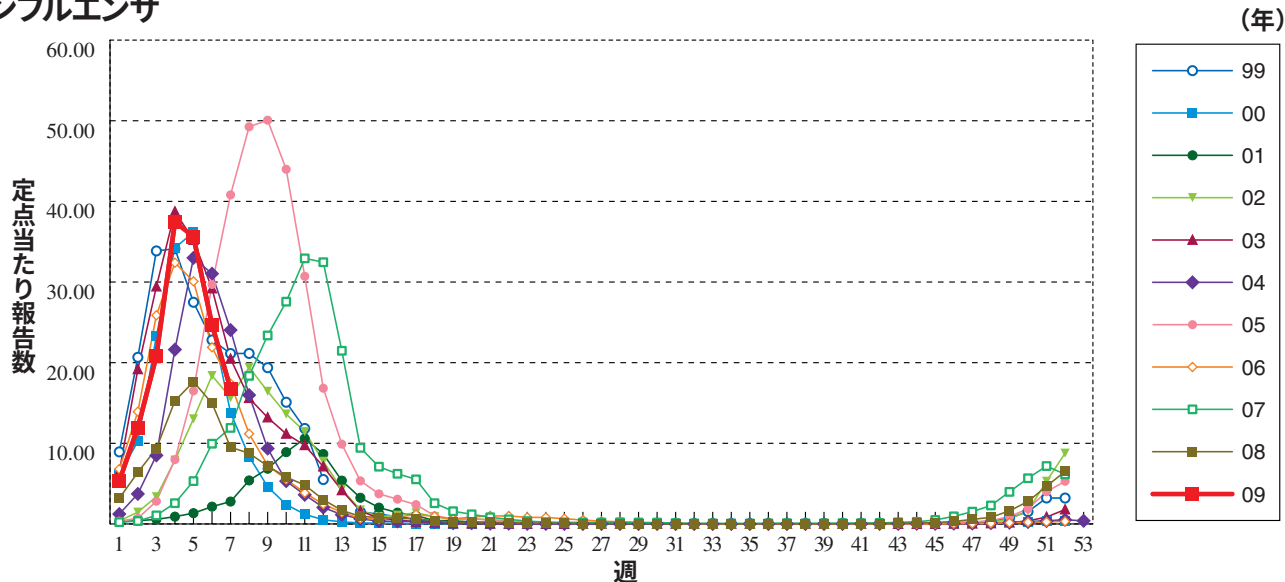
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

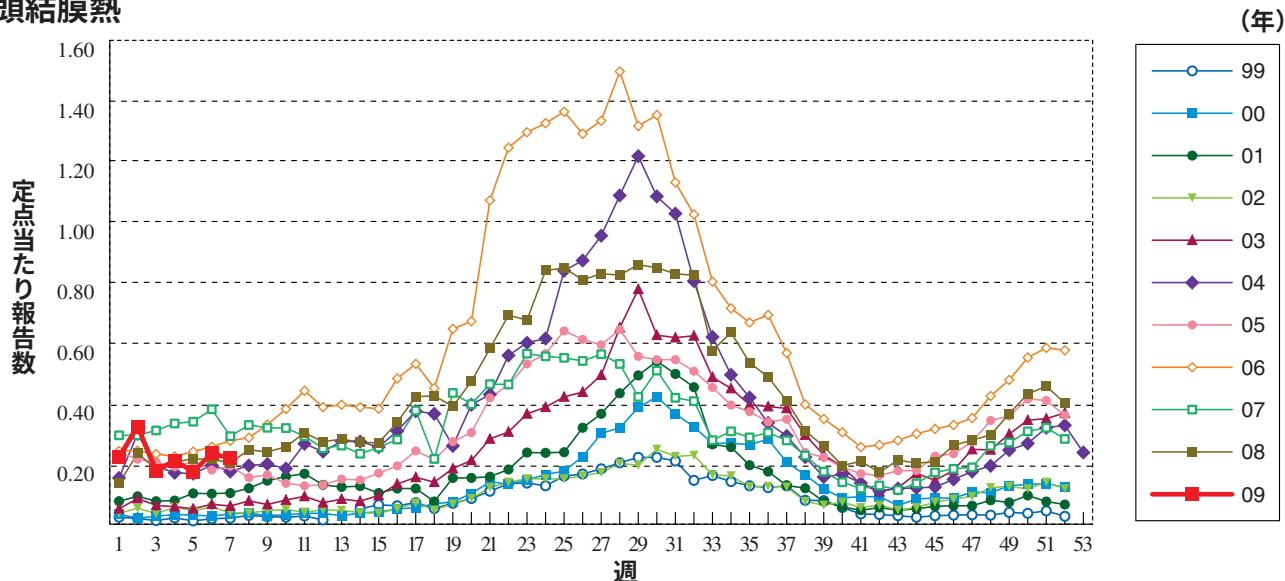


グラフ総覧 (7週)

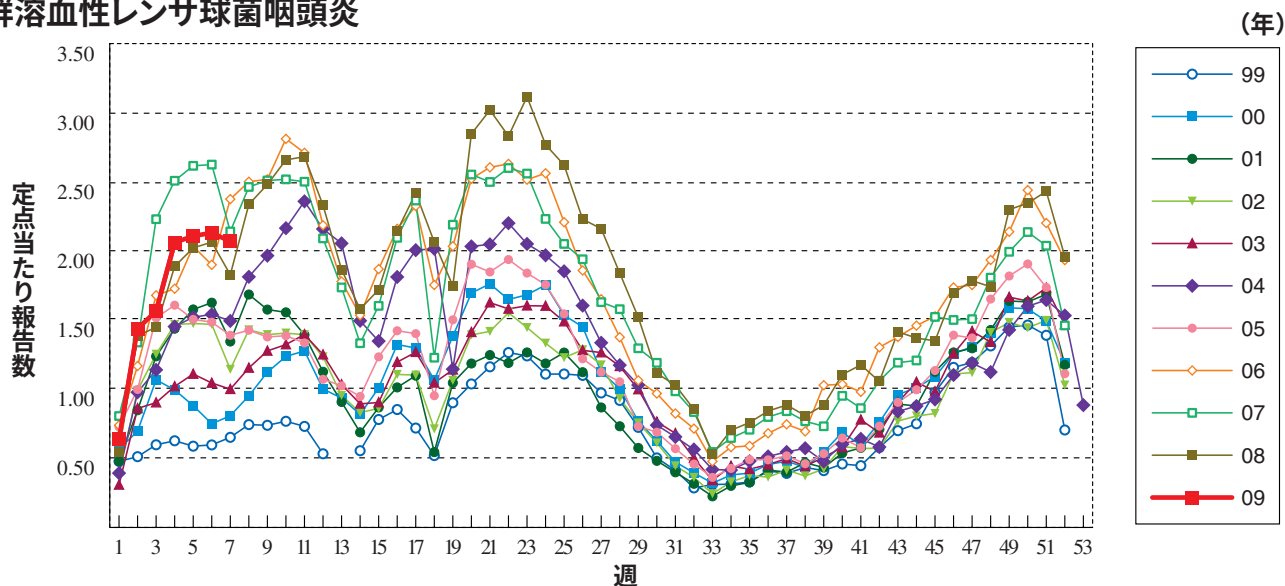
インフルエンザ



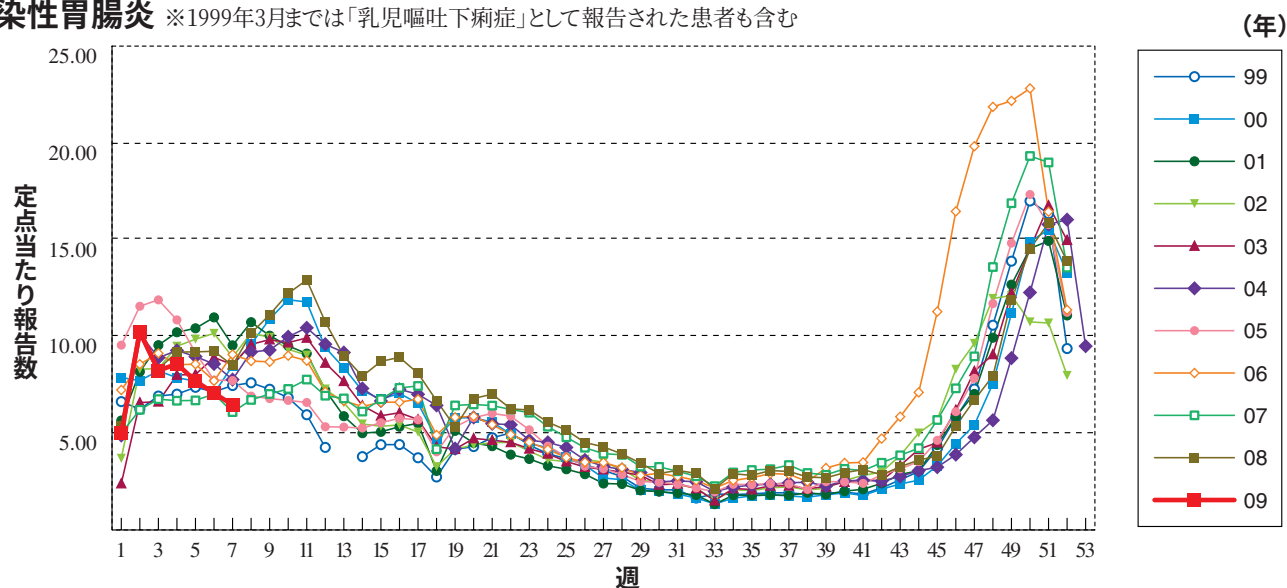
咽頭結膜熱



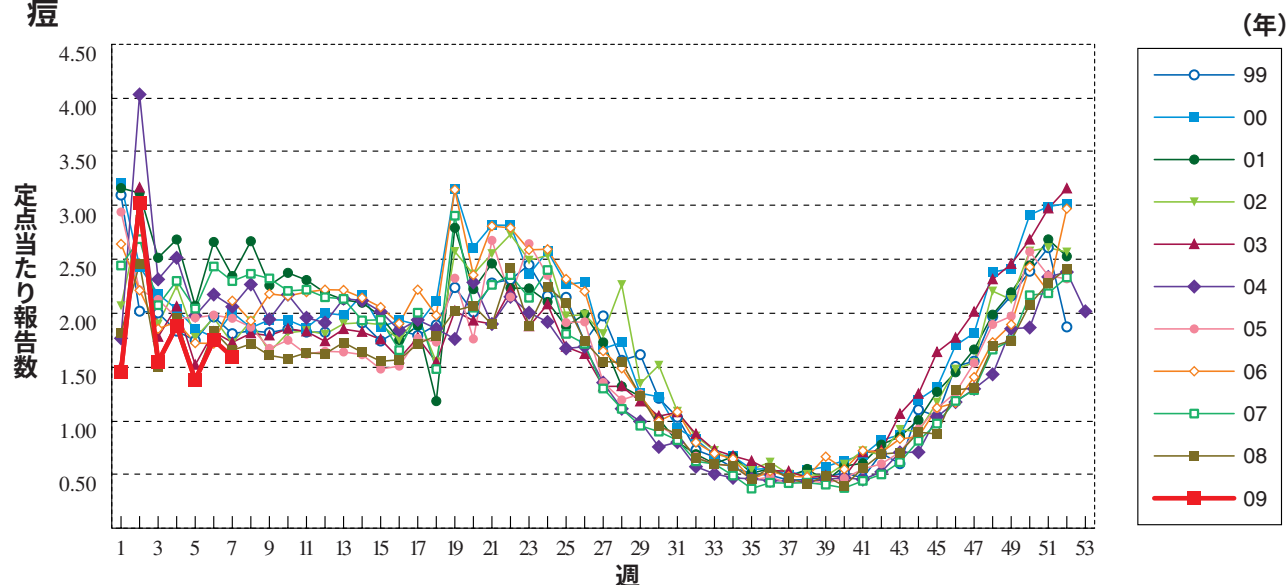
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



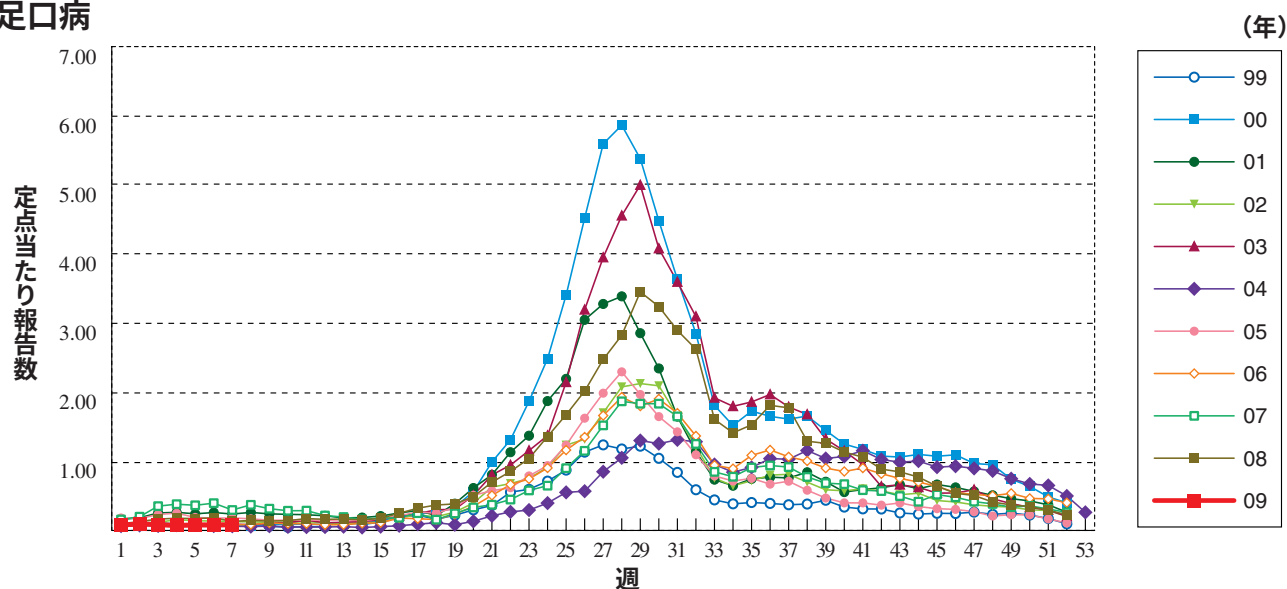
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



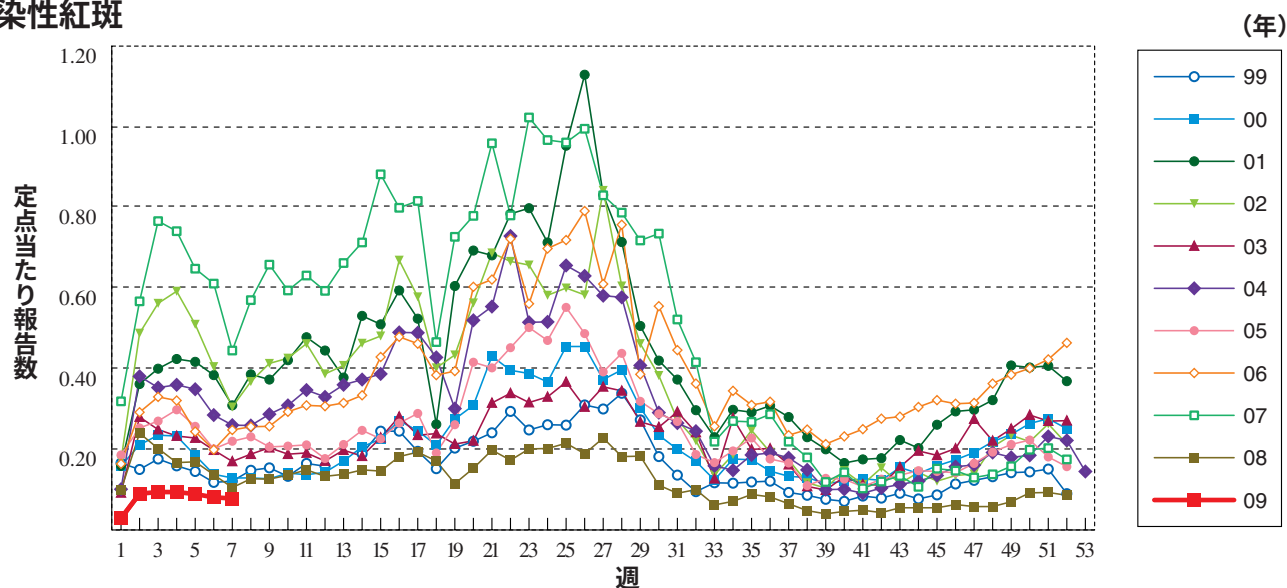
水痘



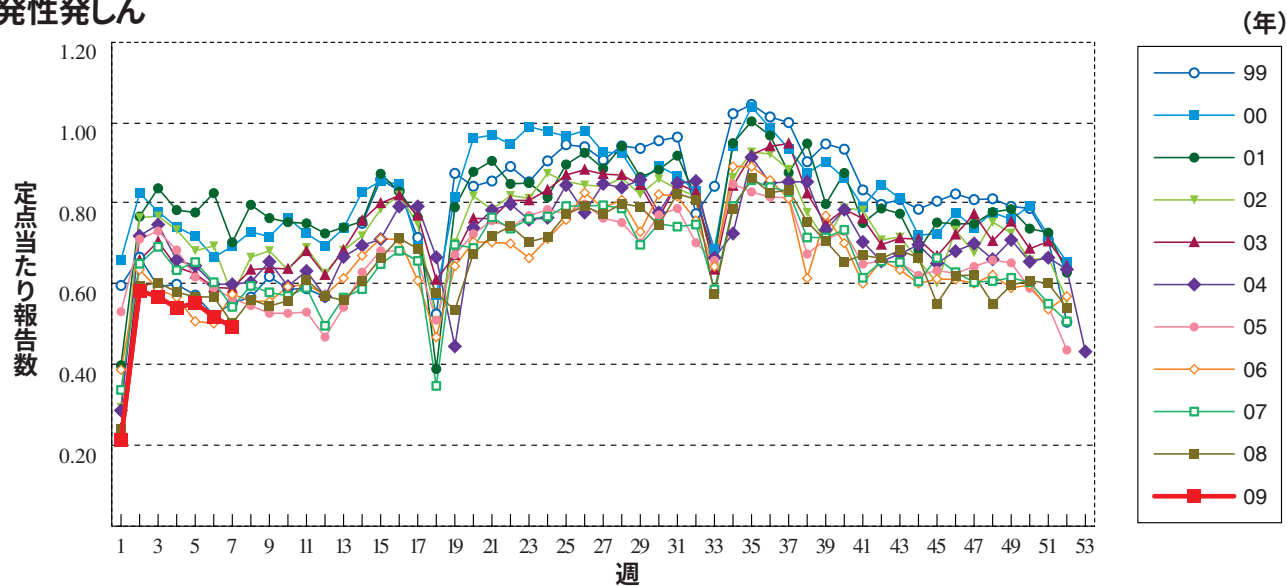
手足口病



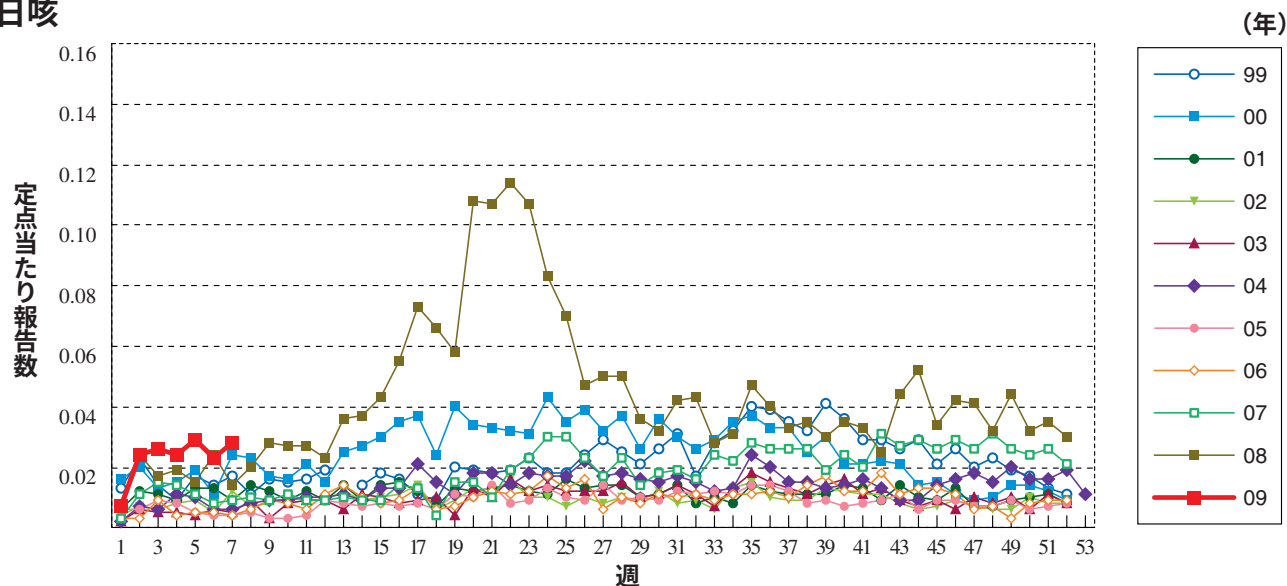
伝染性紅斑



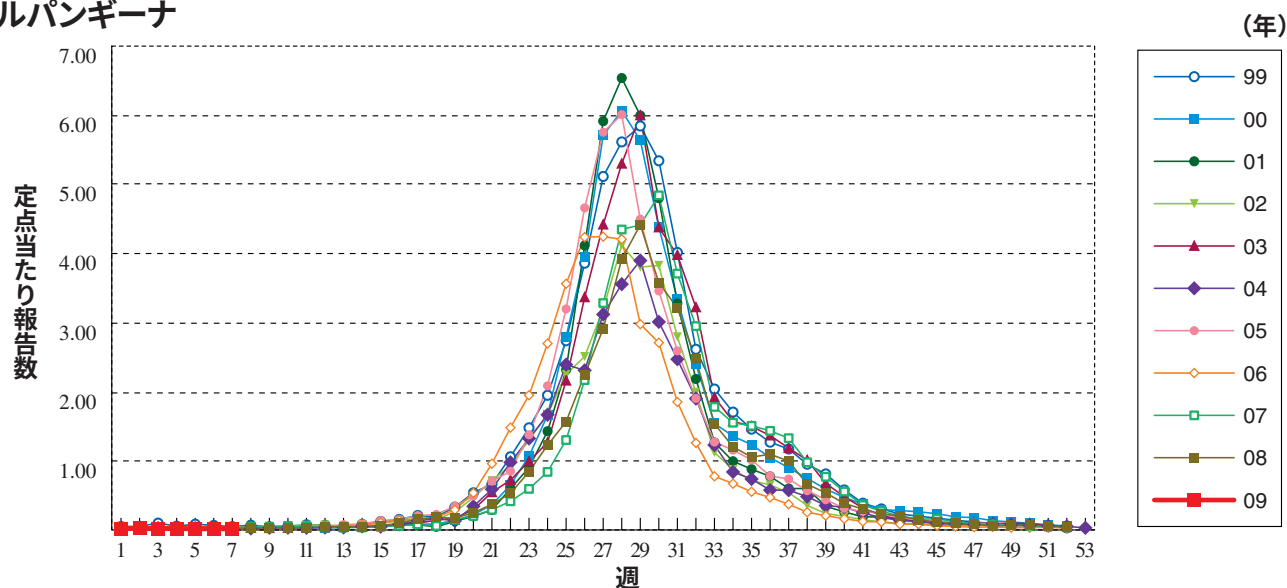
突発性発しん



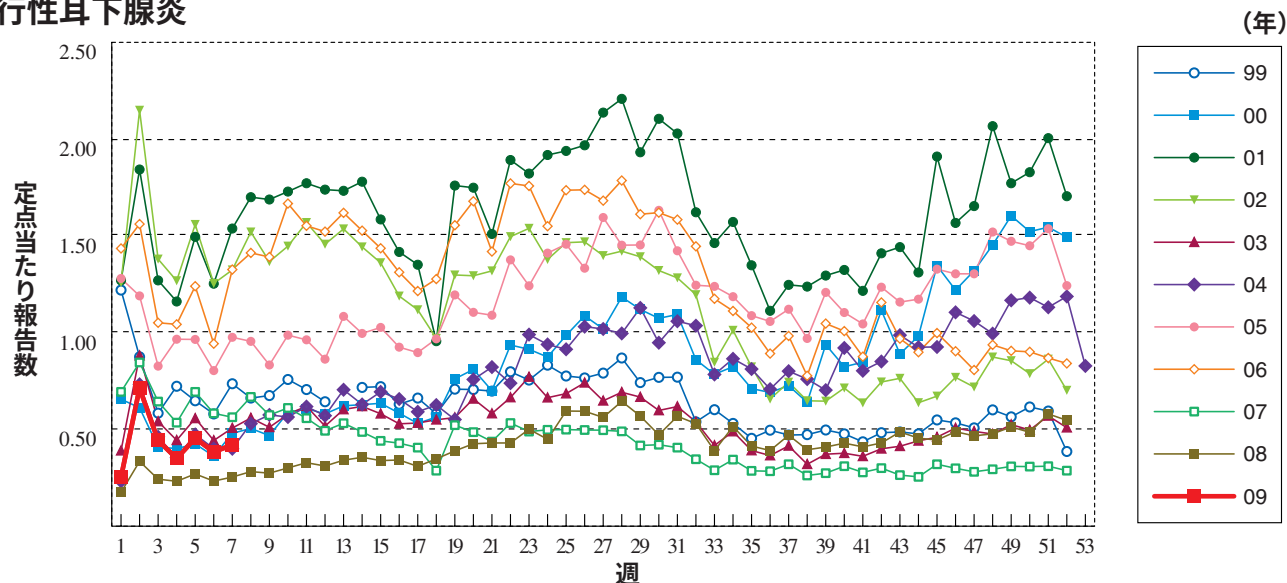
百日咳



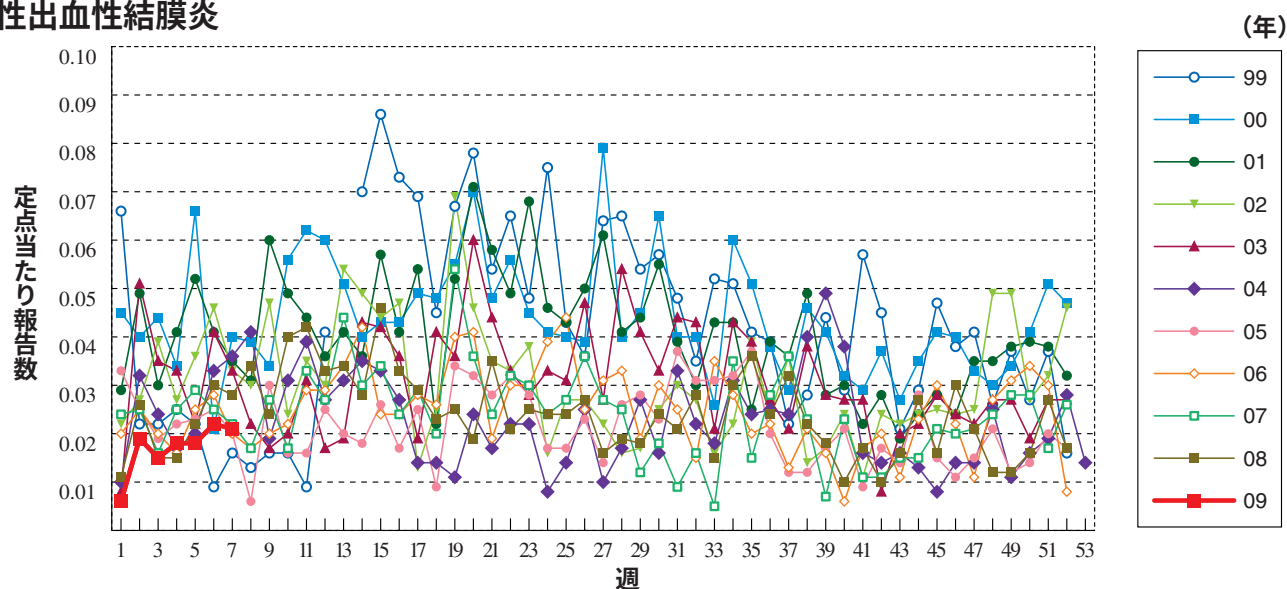
ヘルパンギーナ



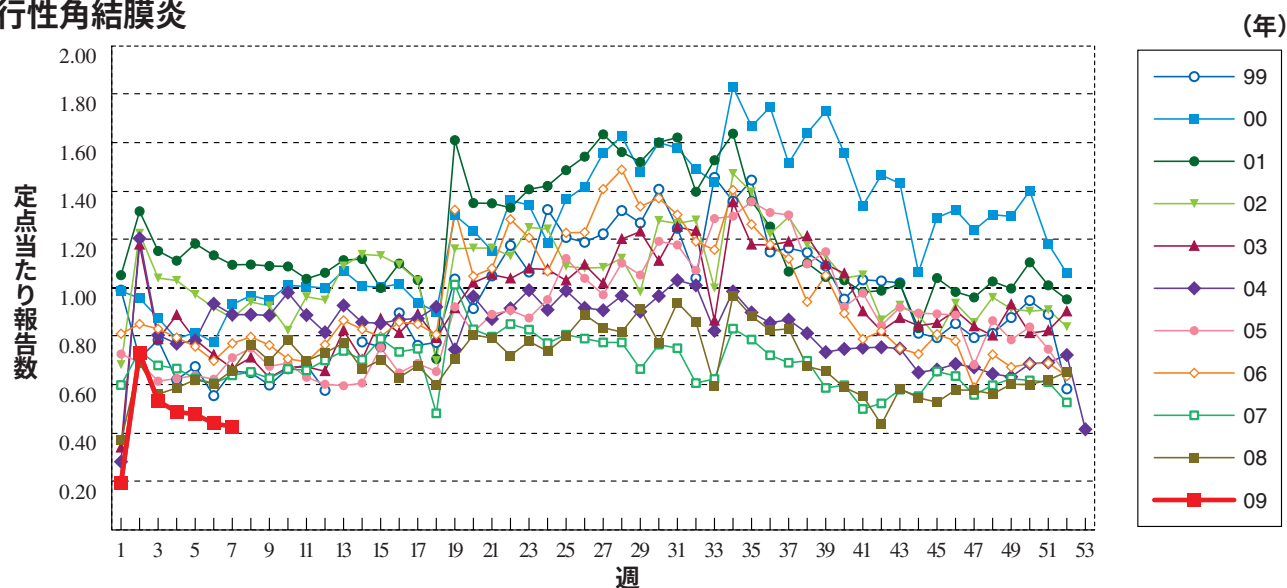
流行性耳下腺炎



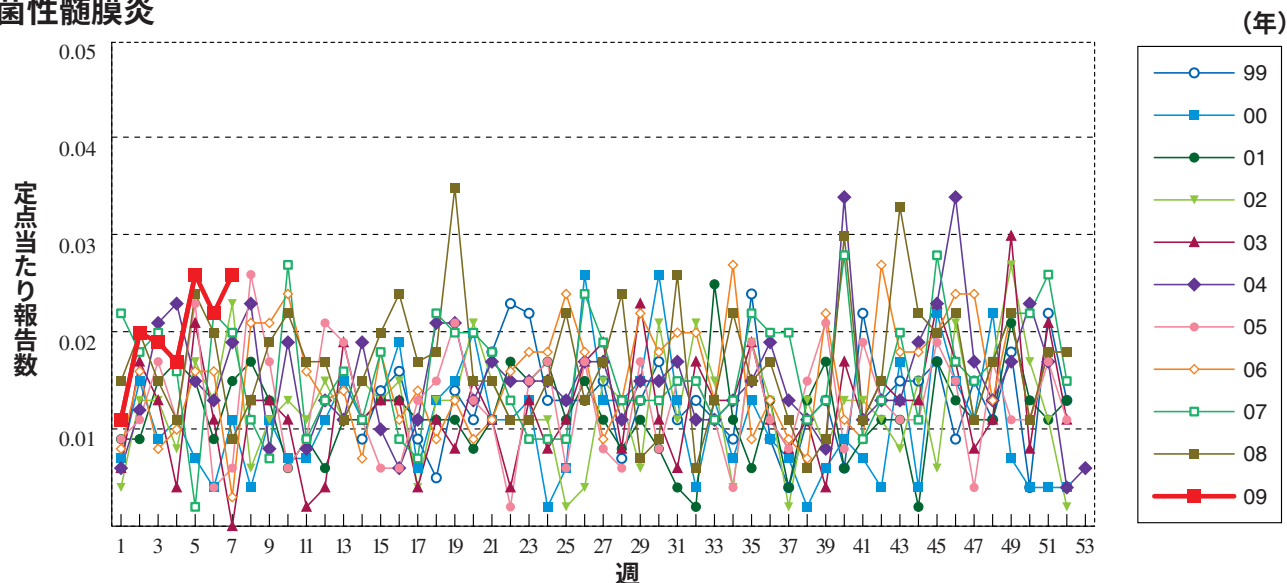
急性出血性結膜炎



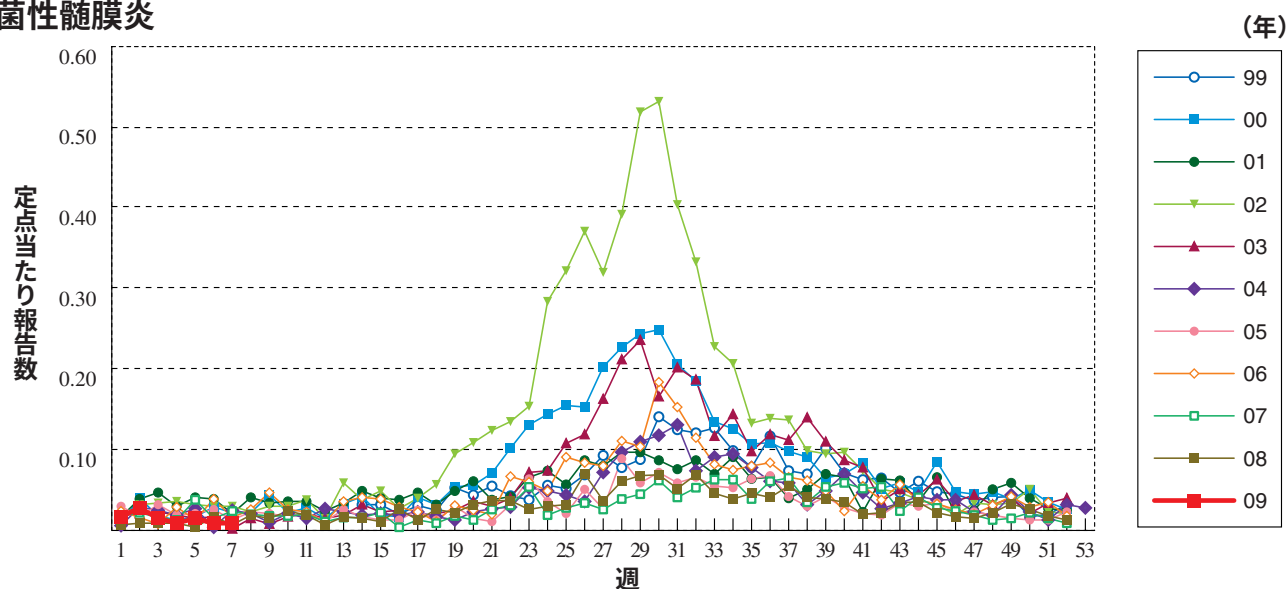
流行性角結膜炎



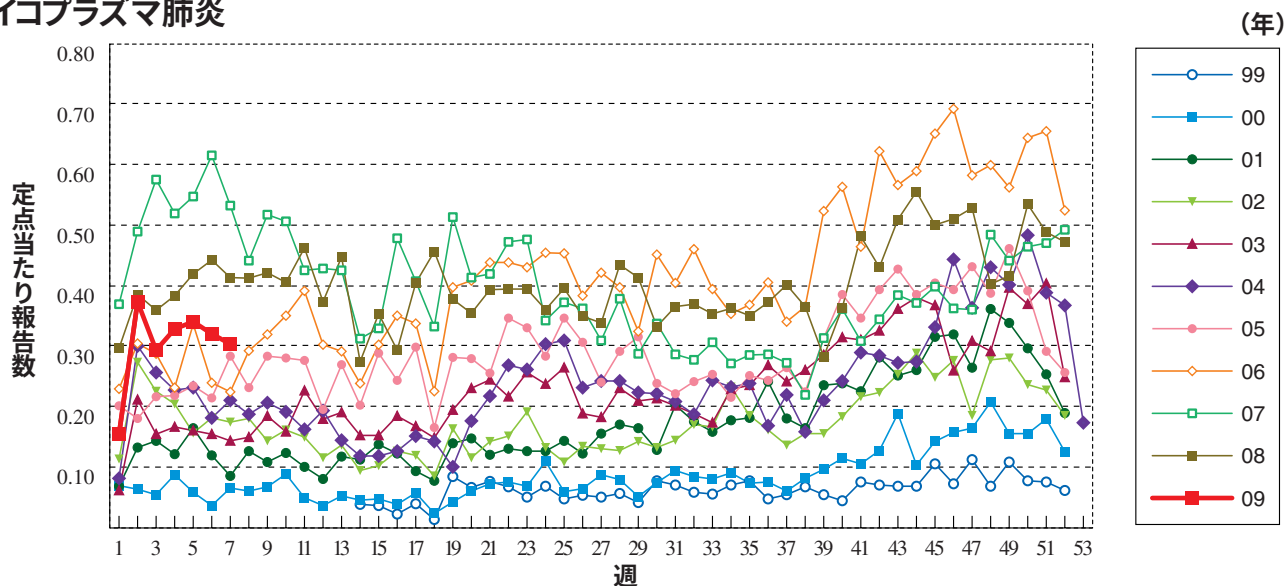
細菌性髄膜炎



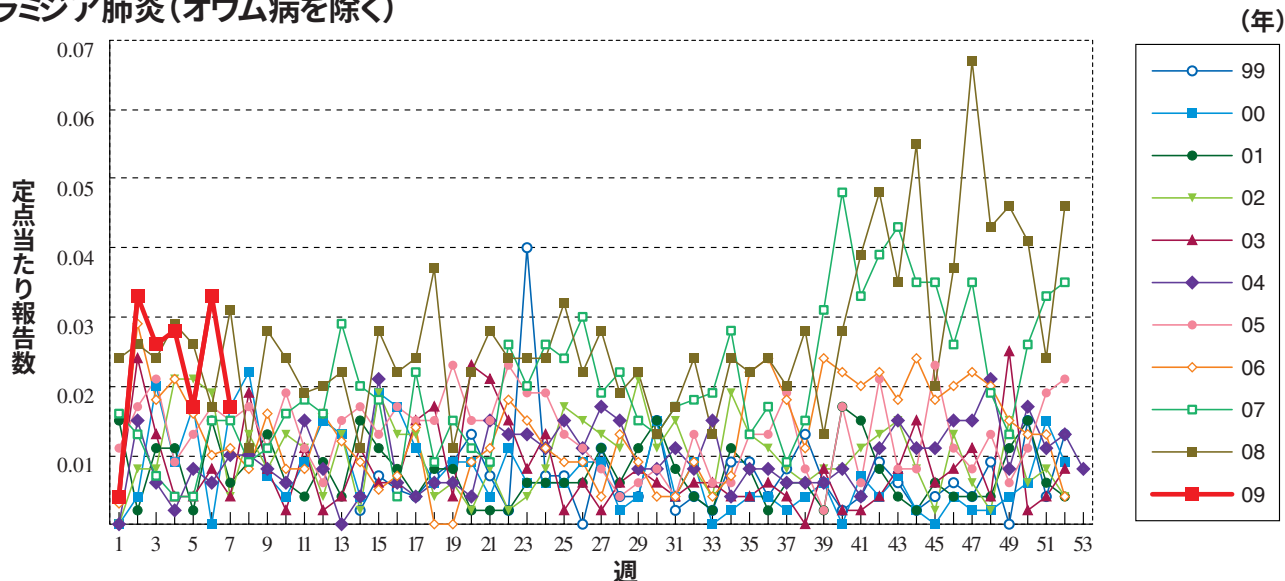
無菌性髄膜炎



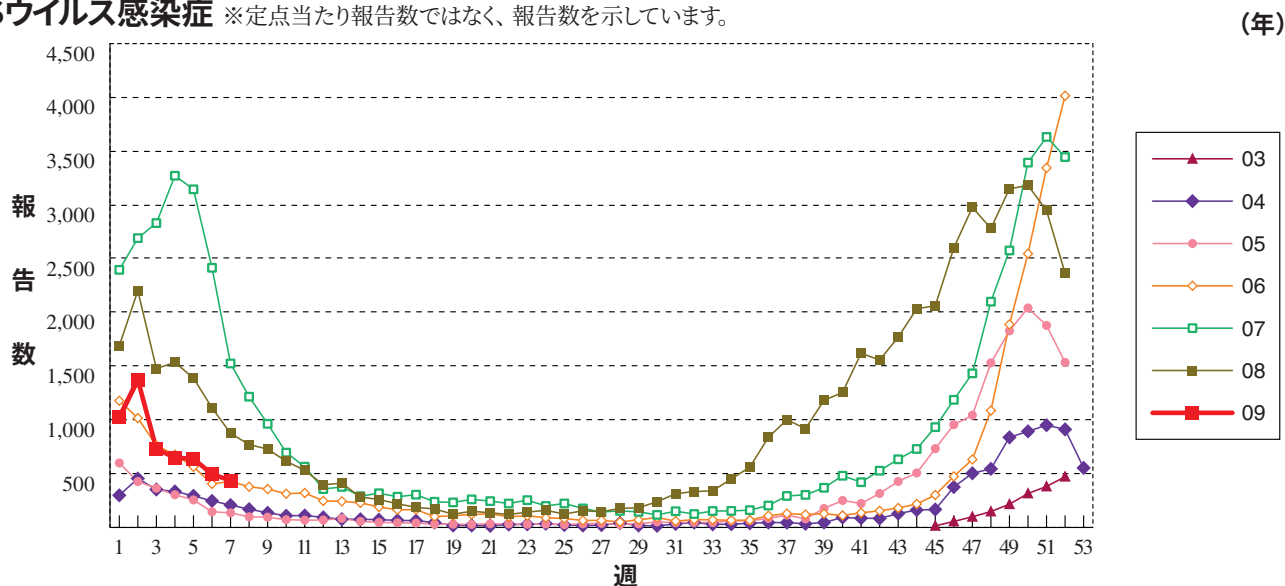
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

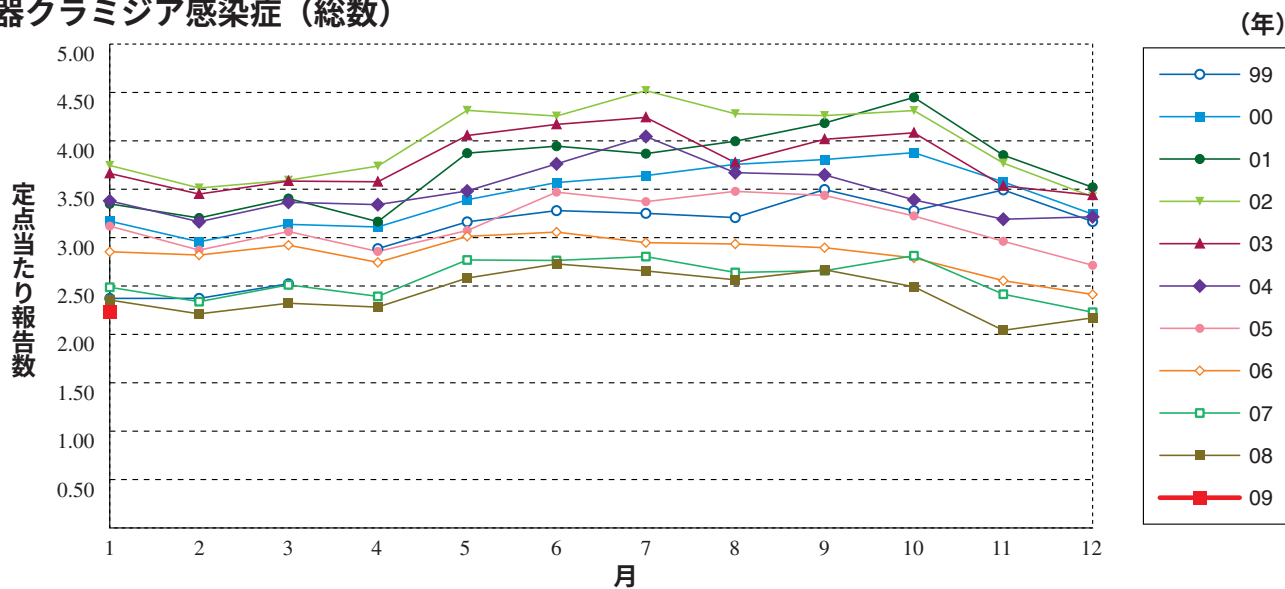




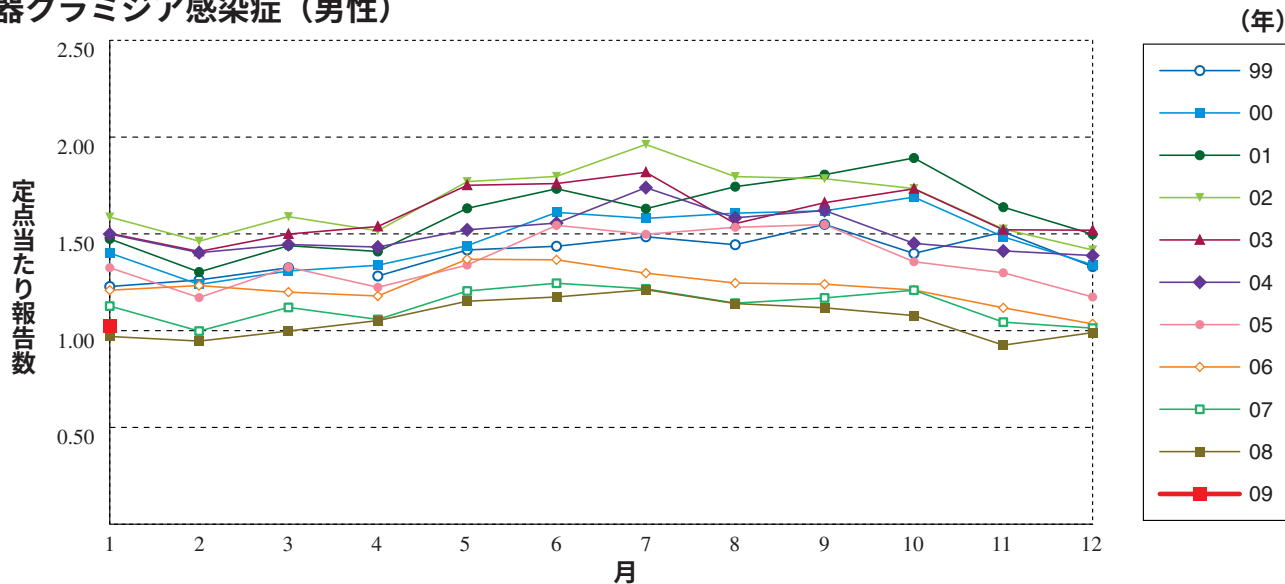
グラフ総覧(1月)

注) 1999年4月以降は定点設定が変更されております。

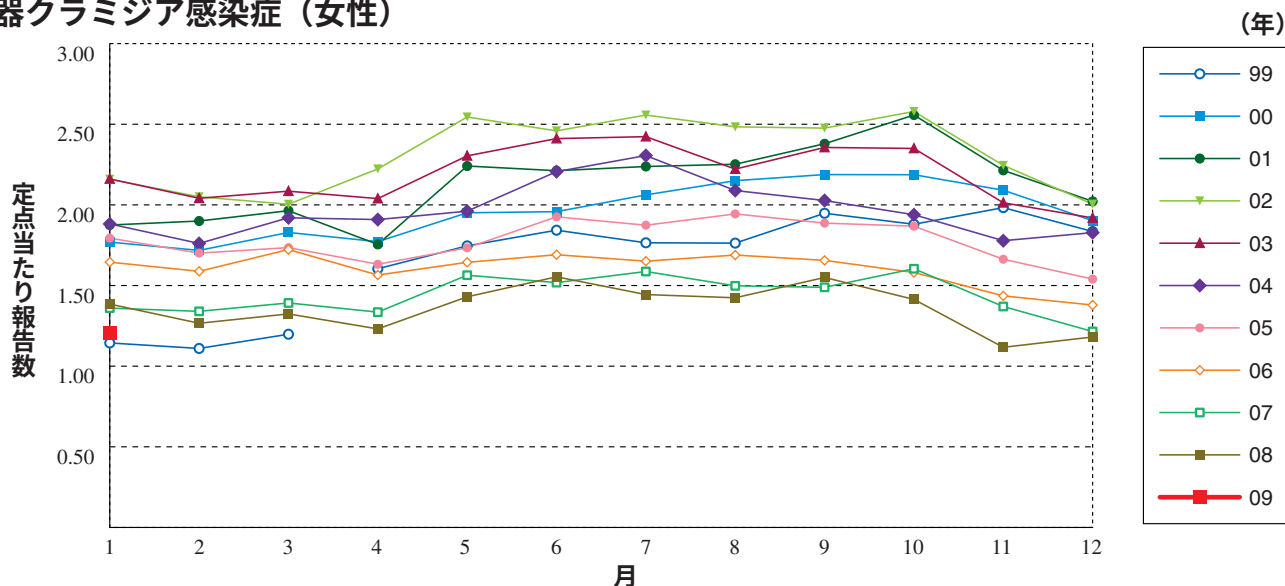
性器クラミジア感染症 (総数)



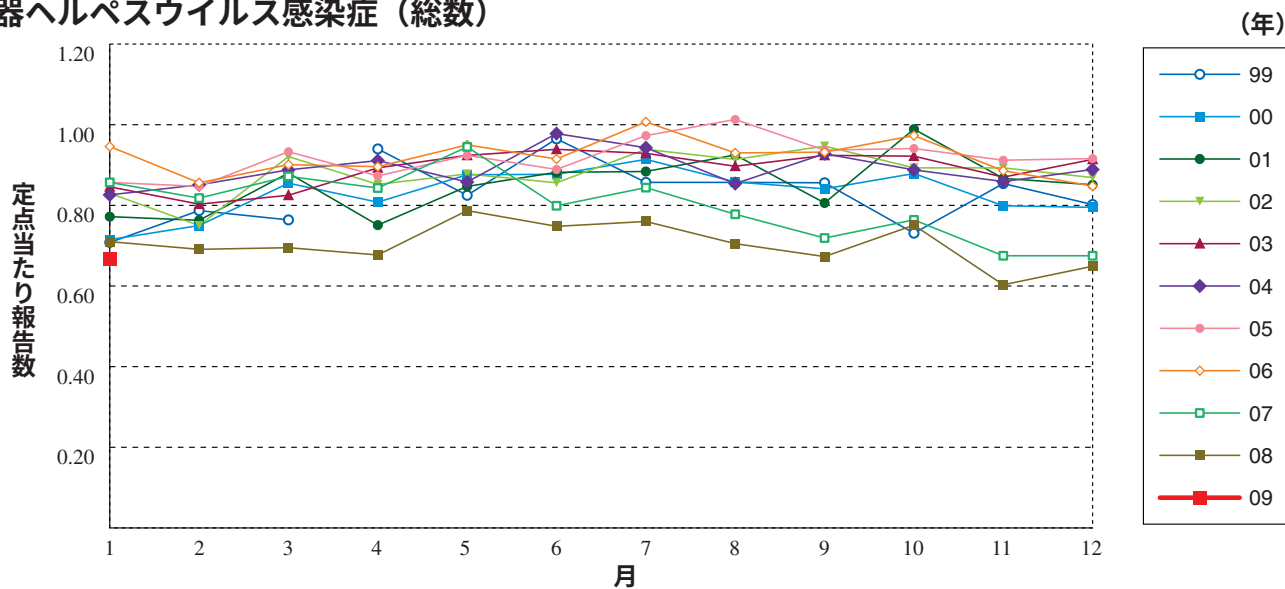
性器クラミジア感染症 (男性)



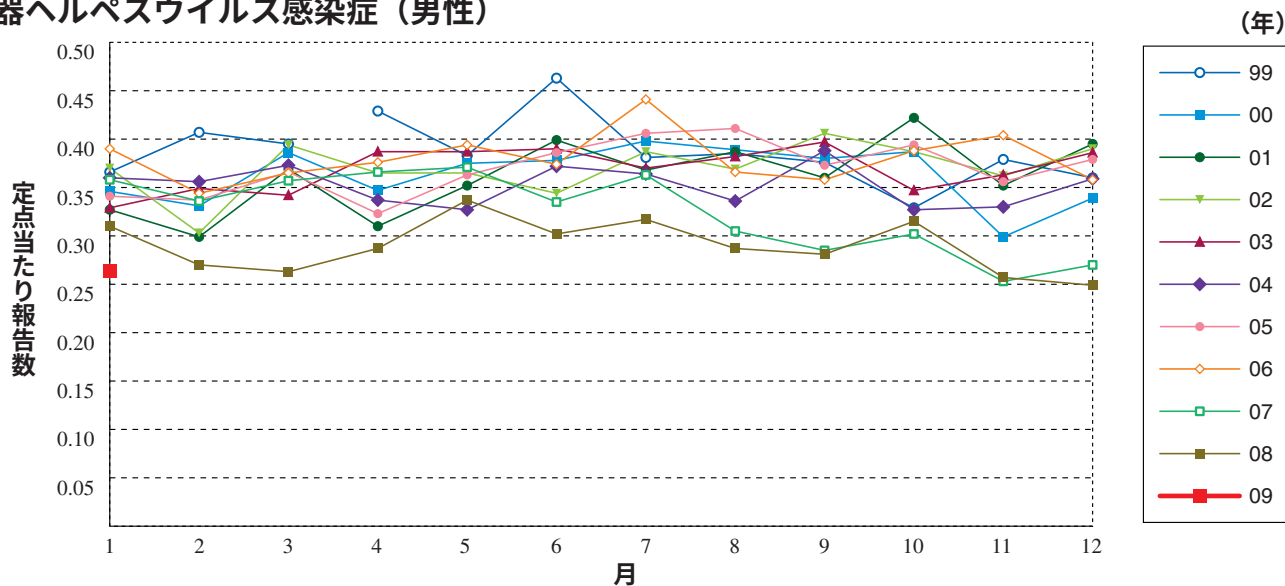
性器クラミジア感染症 (女性)



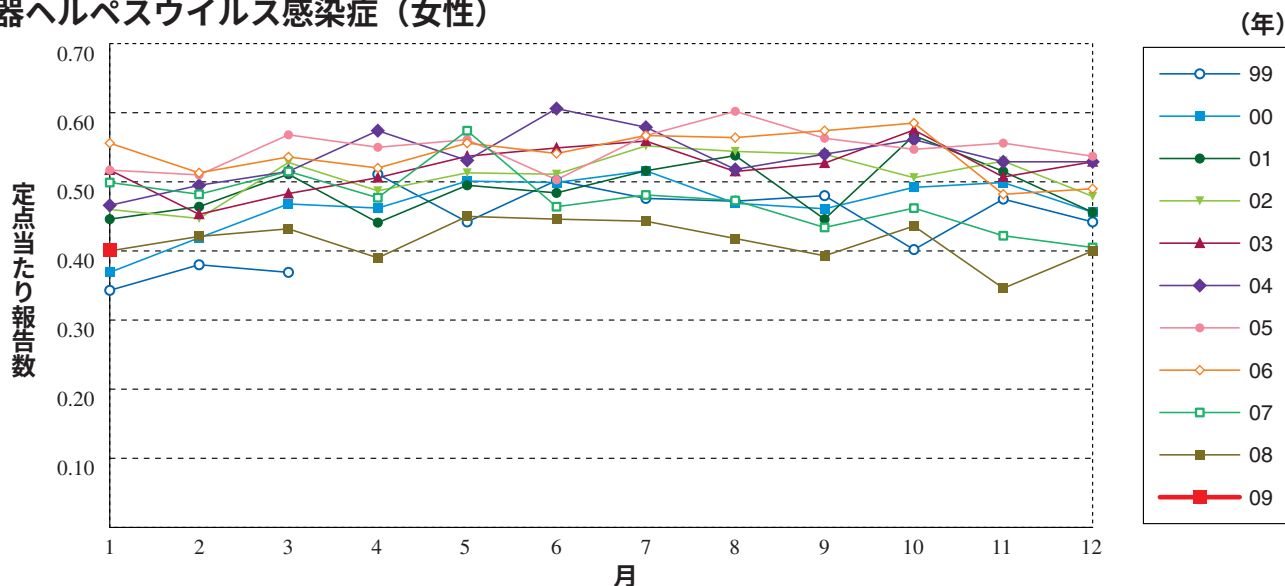
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



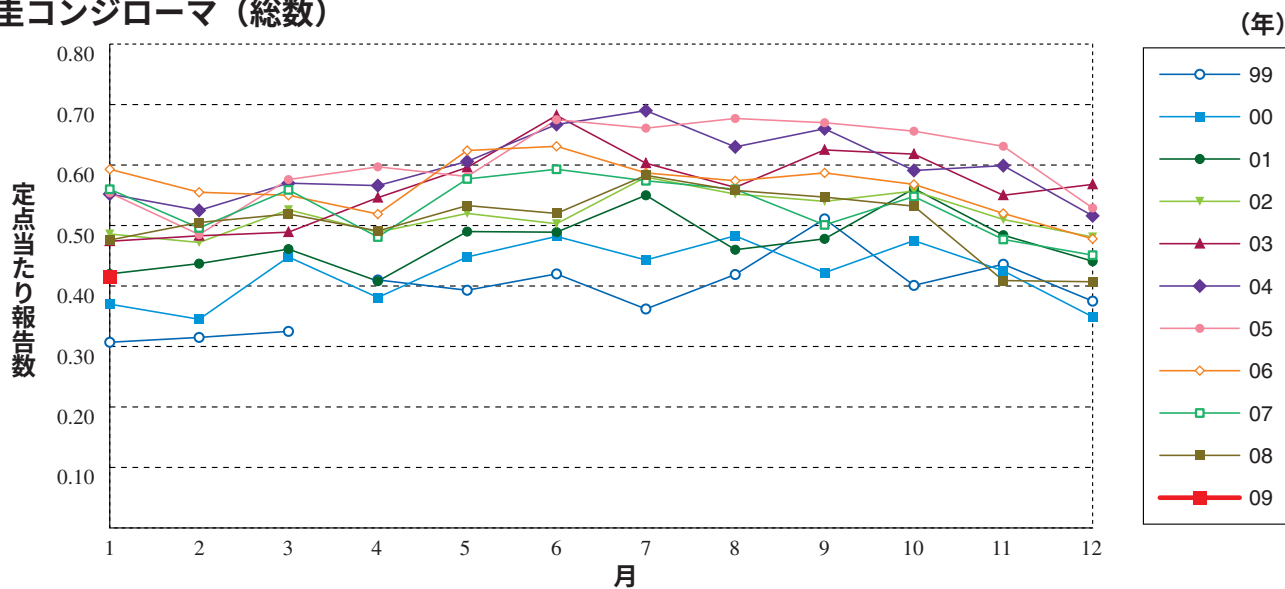
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



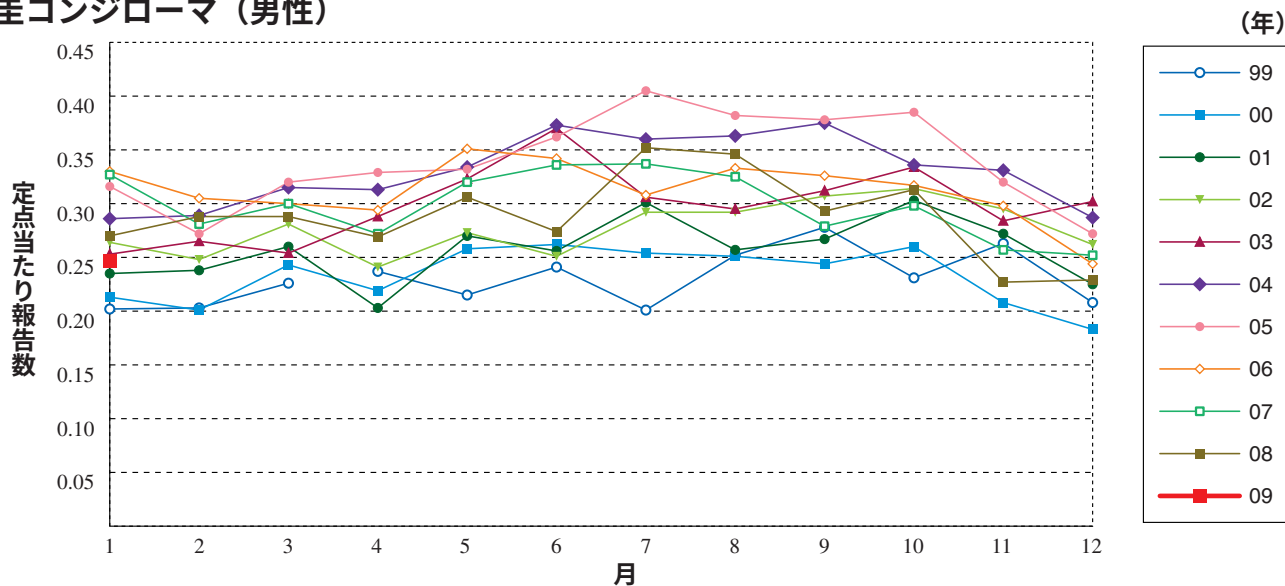
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



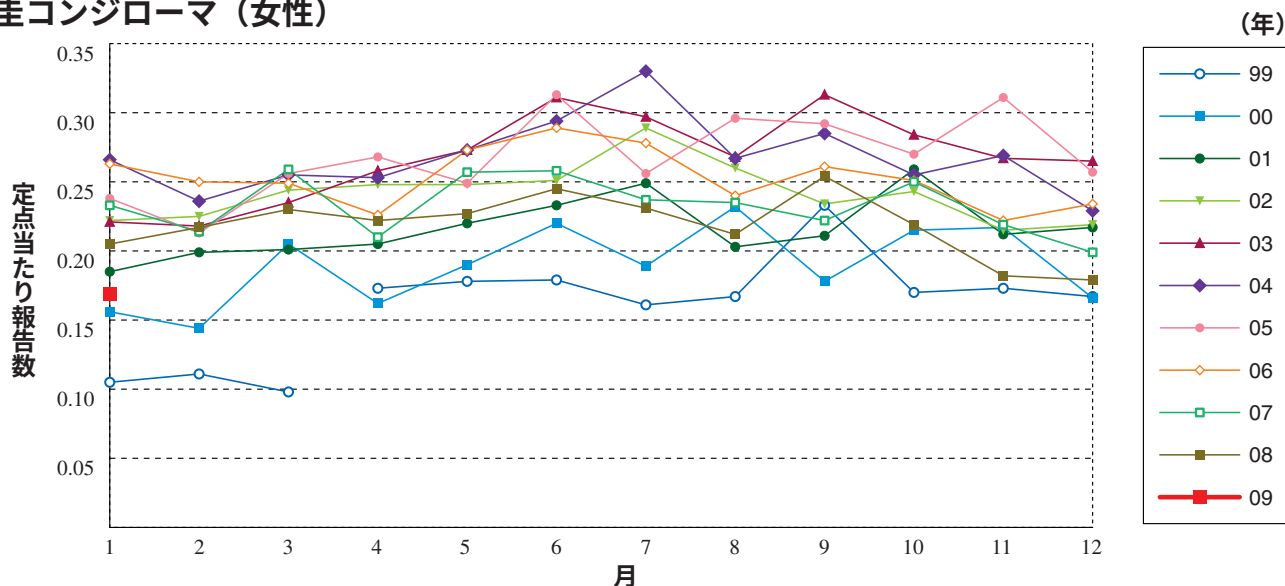
尖圭コンジローマ（総数）



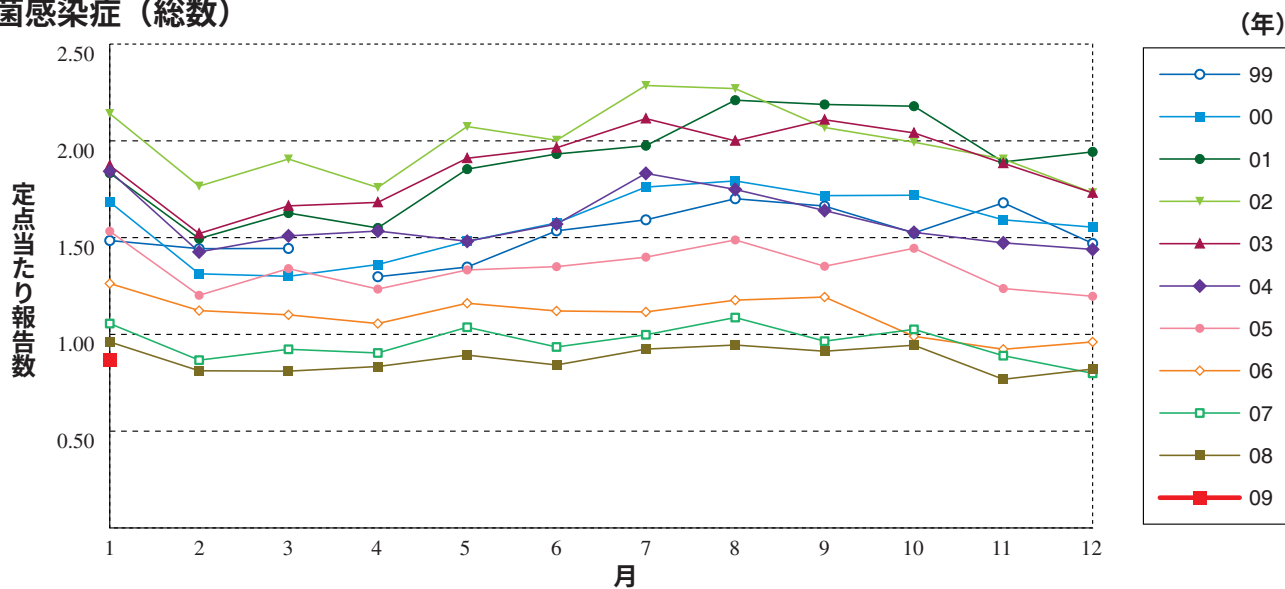
尖圭コンジローマ（男性）



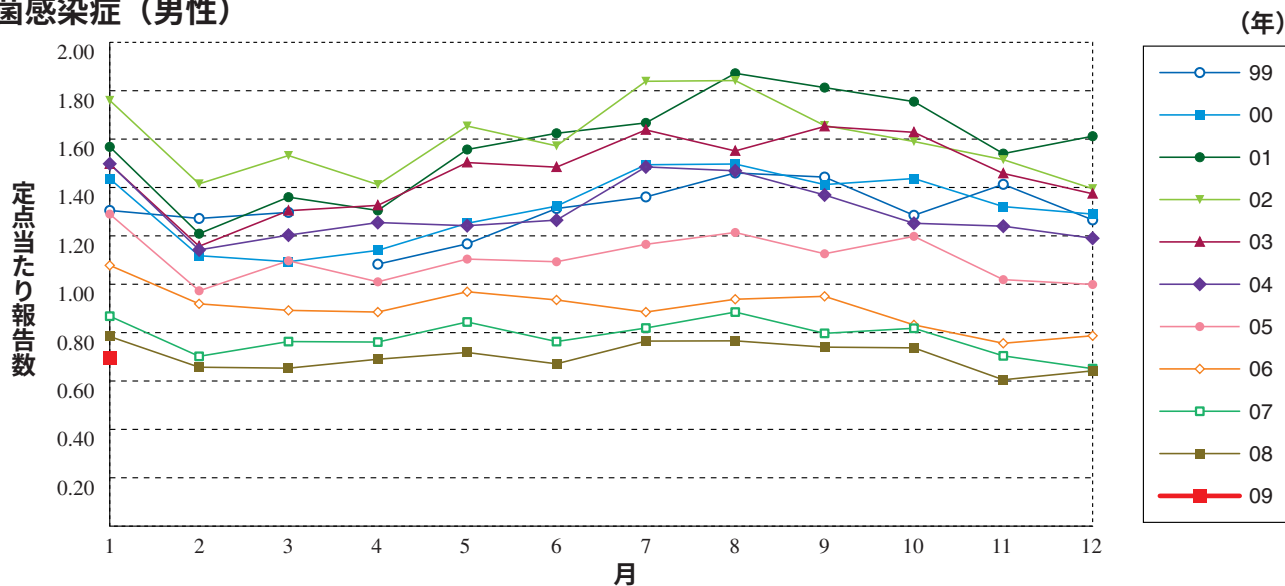
尖圭コンジローマ（女性）



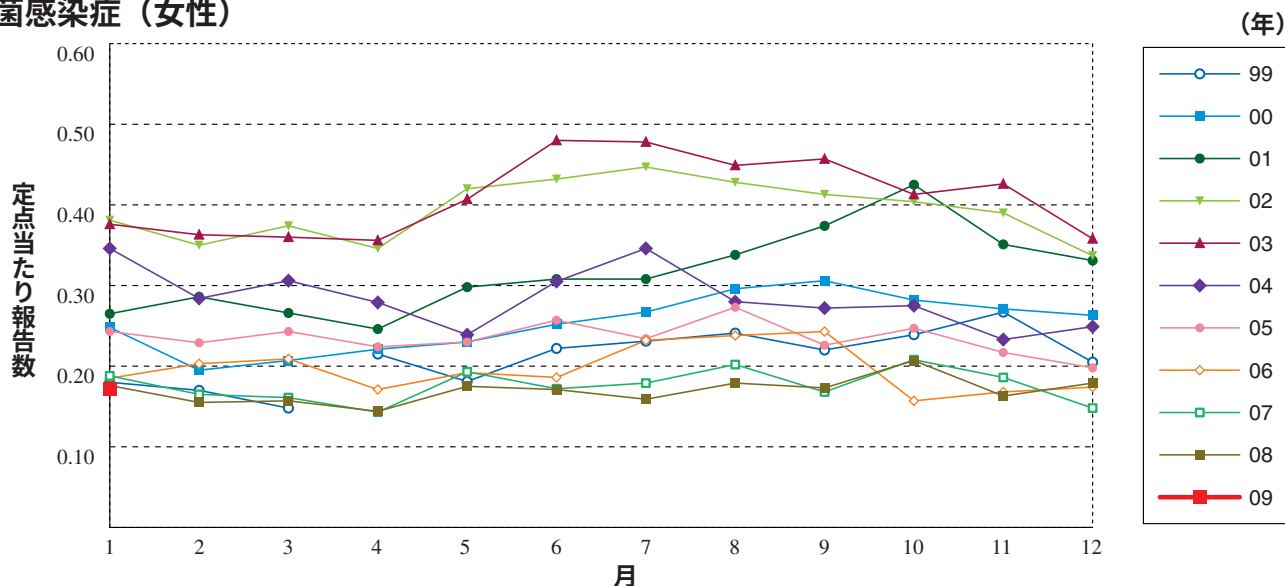
淋菌感染症 (総数)



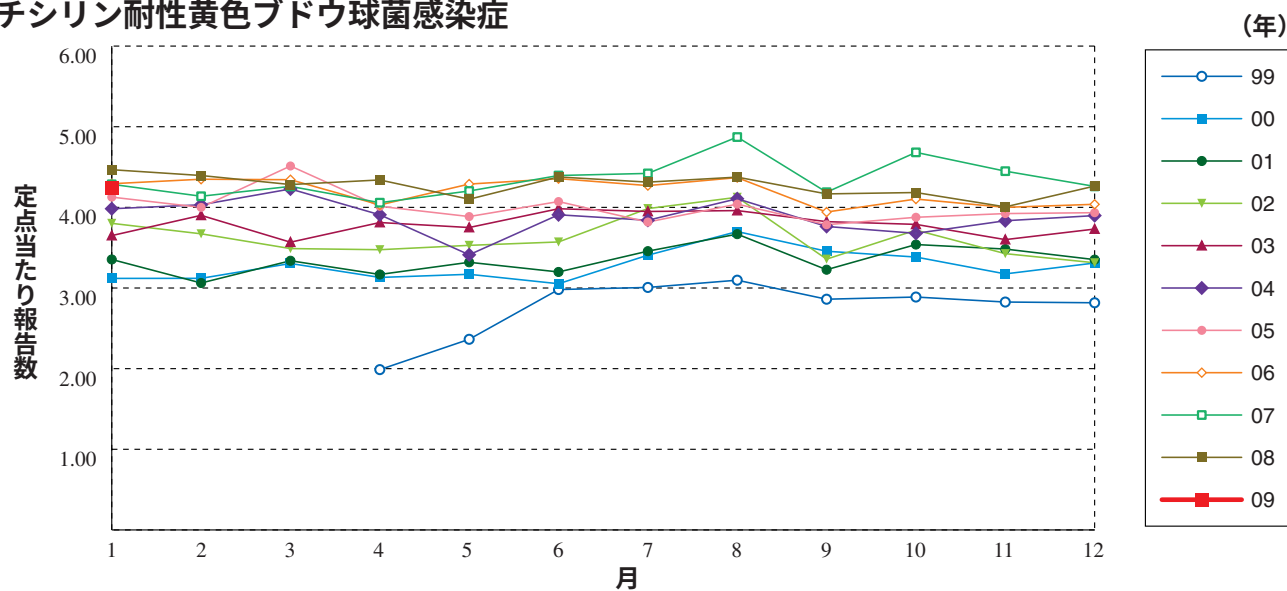
淋菌感染症 (男性)



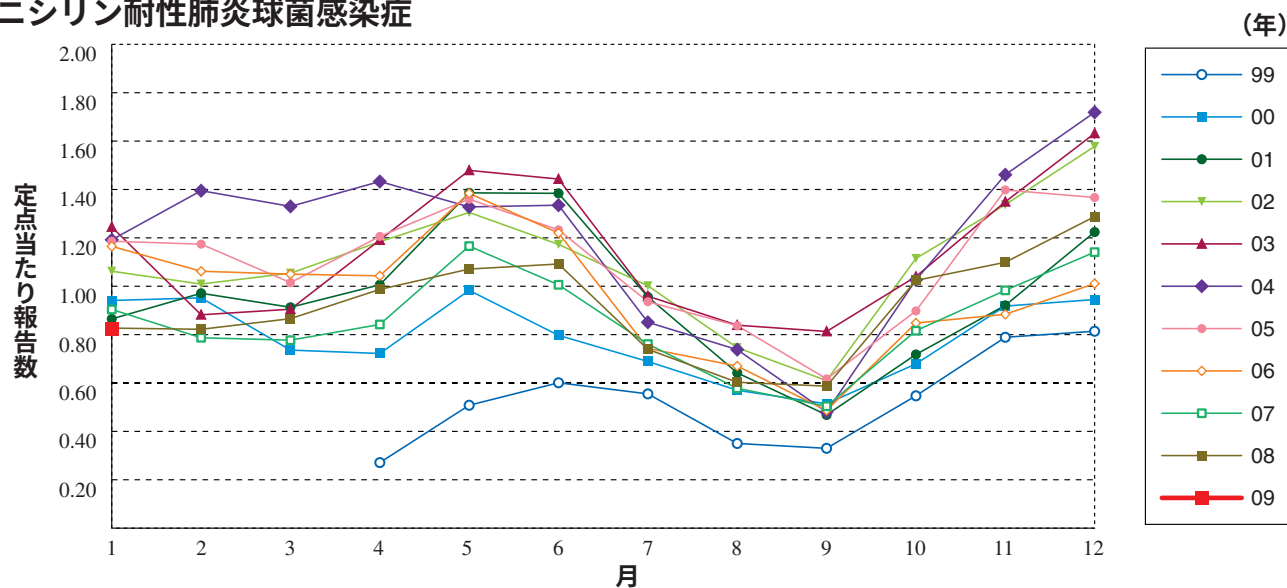
淋菌感染症 (女性)



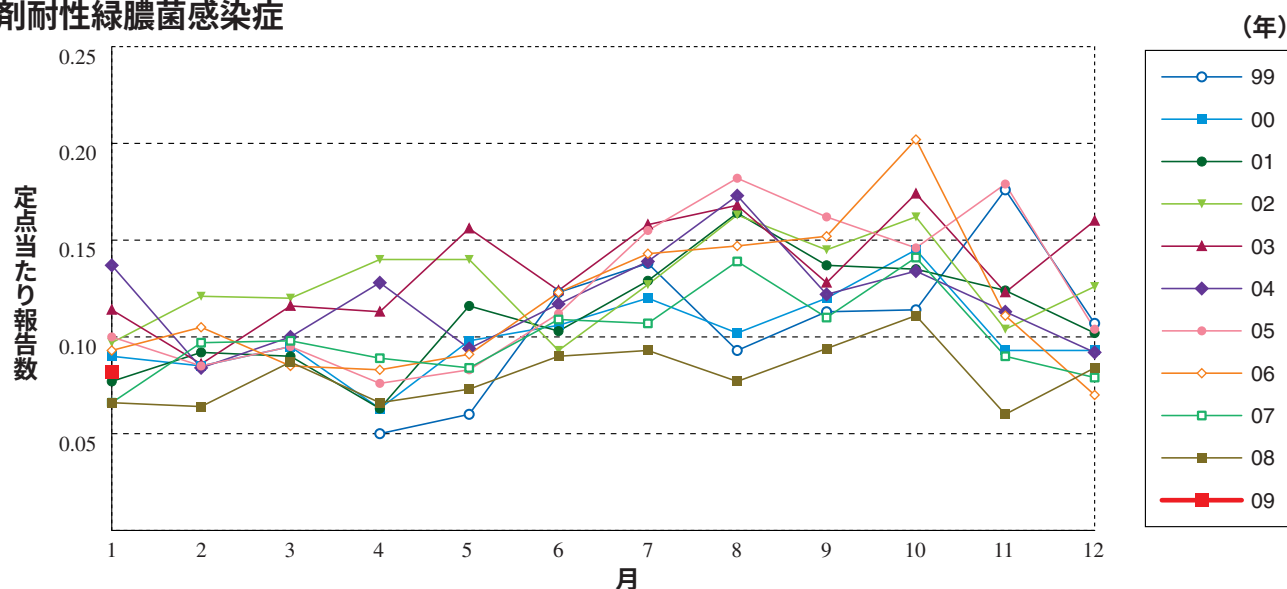
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症





1月のデータ

注) 2月9日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 (総数)

2009年1月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2145	2.23	640	0.67	399	0.42	835	0.87	1968	4.24	383	0.83	38	0.08
北海道	140	3.33	25	0.60	19	0.45	43	1.02	54	2.35	6	0.26	-	-
青森県	26	2.00	3	0.23	5	0.38	8	0.62	7	1.17	-	-	-	-
岩手県	20	1.33	4	0.27	6	0.40	10	0.67	119	5.95	8	0.40	-	-
宮城県	57	3.00	14	0.74	13	0.68	20	1.05	31	2.58	3	0.25	3	0.25
秋田県	34	2.43	8	0.57	5	0.36	9	0.64	34	4.25	1	0.13	-	-
山形県	15	1.50	3	0.30	9	0.90	3	0.30	29	2.90	6	0.60	-	-
福島県	52	3.25	8	0.50	7	0.44	12	0.75	53	7.57	-	-	-	-
茨城県	82	3.73	18	0.82	2	0.09	18	0.82	29	2.23	-	-	-	-
栃木県	44	2.59	8	0.47	20	1.18	22	1.29	46	6.57	2	0.29	-	-
群馬県	73	2.81	20	0.77	4	0.15	12	0.46	35	4.38	6	0.75	-	-
埼玉県	128	2.29	28	0.50	15	0.27	29	0.52	15	1.67	27	3.00	-	-
千葉県	66	1.74	28	0.74	19	0.50	13	0.34	35	3.89	46	5.11	2	0.22
東京都	183	3.45	64	1.21	61	1.15	85	1.60	98	4.45	38	1.73	3	0.14
神奈川県	97	1.80	36	0.67	15	0.28	36	0.67	18	2.25	4	0.50	-	-
新潟県	11	0.73	2	0.13	6	0.40	28	1.87	105	8.08	11	0.85	7	0.54
富山県	10	1.00	1	0.10	3	0.30	6	0.60	23	4.60	12	2.40	-	-
石川県	18	1.80	8	0.80	4	0.40	4	0.40	18	3.60	-	-	-	-
福井県	5	1.00	3	0.60	1	0.20	-	-	37	6.17	9	1.50	-	-
山梨県	11	1.22	3	0.33	1	0.11	1	0.11	21	2.10	4	0.40	6	0.60
長野県	35	2.33	11	0.73	7	0.47	7	0.47	26	2.36	12	1.09	-	-
岐阜県	20	1.43	12	0.86	4	0.29	16	1.14	24	4.80	12	2.40	1	0.20
静岡県	52	1.73	9	0.30	5	0.17	9	0.30	52	5.20	8	0.80	-	-
愛知県	136	2.16	42	0.67	33	0.52	65	1.03	78	5.57	8	0.57	1	0.07
三重県	16	1.07	6	0.40	3	0.20	6	0.40	33	3.67	-	-	-	-
滋賀県	6	0.67	3	0.33	5	0.56	-	-	54	7.71	2	0.29	-	-
京都府	24	1.04	15	0.65	2	0.09	10	0.43	12	1.71	-	-	1	0.14
大阪府	196	3.16	63	1.02	40	0.65	83	1.34	62	4.13	15	1.00	1	0.07
兵庫県	87	1.89	23	0.50	12	0.26	37	0.80	31	2.58	4	0.33	-	-
奈良県	5	0.56	1	0.11	3	0.33	5	0.56	37	6.17	6	1.00	-	-
和歌山県	13	1.63	5	0.63	5	0.63	5	0.63	47	4.27	3	0.27	1	0.09
鳥取県	32	6.40	11	2.20	3	0.60	23	4.60	35	7.00	7	1.40	-	-
島根県	4	0.67	5	0.83	4	0.67	4	0.67	43	5.38	2	0.25	3	0.38
岡山県	34	1.55	12	0.55	7	0.32	25	1.14	12	2.40	2	0.40	1	0.20
広島県	60	2.61	11	0.48	6	0.26	25	1.09	119	5.67	21	1.00	1	0.05
山口県	18	1.50	6	0.50	3	0.25	9	0.75	70	7.78	23	2.56	2	0.22
徳島県	10	1.67	1	0.17	5	0.83	6	1.00	24	4.00	-	-	-	-
香川県	12	0.80	7	0.47	7	0.47	6	0.40	16	3.20	6	1.20	-	-
愛媛県	9	0.82	4	0.36	2	0.18	5	0.45	10	1.67	-	-	-	-
高知県	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	31	4.43	24	3.43	-	-
福岡県	123	3.32	44	1.19	13	0.35	67	1.81	48	3.20	-	-	-	-
佐賀県	21	3.00	3	0.43	-	-	7	1.00	31	5.17	6	1.00	-	-
長崎県	14	1.40	9	0.90	3	0.30	3	0.30	33	3.00	5	0.45	-	-
熊本県	47	3.62	21	1.62	4	0.31	11	0.85	92	6.13	3	0.20	2	0.13
大分県	14	1.40	11	1.10	2	0.20	4	0.40	38	3.45	15	1.36	2	0.18
宮崎県	17	1.42	3	0.25	1	0.08	8	0.67	30	4.29	11	1.57	1	0.14
鹿児島県	36	2.25	15	0.94	2	0.13	25	1.56	18	1.50	2	0.17	-	-
沖縄県	31	2.58	2	0.17	3	0.25	5	0.42	55	7.86	3	0.43	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 (男)

2009年1月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	984	1.02	254	0.26	237	0.25	670	0.70	1255	2.70	206	0.44	23	0.05
北海道	37	0.88	6	0.14	8	0.19	24	0.57	32	1.39	1	0.04	-	-
青森県	7	0.54	-	-	2	0.15	5	0.38	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	11	0.73	2	0.13	4	0.27	8	0.53	69	3.45	4	0.20	-	-
宮城県	32	1.68	4	0.21	7	0.37	18	0.95	24	2.00	1	0.08	3	0.25
秋田県	19	1.36	5	0.36	2	0.14	6	0.43	20	2.50	1	0.13	-	-
山形県	4	0.40	-	-	1	0.10	-	-	16	1.60	3	0.30	-	-
福島県	22	1.38	3	0.19	2	0.13	9	0.56	36	5.14	-	-	-	-
茨城県	33	1.50	3	0.14	1	0.05	10	0.45	17	1.31	-	-	-	-
栃木県	27	1.59	6	0.35	16	0.94	21	1.24	33	4.71	1	0.14	-	-
群馬県	30	1.15	2	0.08	3	0.12	10	0.38	24	3.00	4	0.50	-	-
埼玉県	52	0.93	12	0.21	5	0.09	23	0.41	6	0.67	16	1.78	-	-
千葉県	33	0.87	18	0.47	14	0.37	11	0.29	21	2.33	29	3.22	1	0.11
東京都	100	1.89	35	0.66	43	0.81	74	1.40	67	3.05	20	0.91	2	0.09
神奈川県	50	0.93	19	0.35	7	0.13	33	0.61	11	1.38	2	0.25	-	-
新潟県	7	0.47	1	0.07	5	0.33	28	1.87	67	5.15	6	0.46	5	0.38
富山県	2	0.20	-	-	1	0.10	6	0.60	15	3.00	6	1.20	-	-
石川県	11	1.10	2	0.20	1	0.10	4	0.40	14	2.80	-	-	-	-
福井県	4	0.80	2	0.40	1	0.20	-	-	25	4.17	5	0.83	-	-
山梨県	1	0.11	-	-	-	-	1	0.11	13	1.30	3	0.30	1	0.10
長野県	14	0.93	4	0.27	5	0.33	5	0.33	15	1.36	6	0.55	-	-
岐阜県	15	1.07	10	0.71	3	0.21	14	1.00	19	3.80	6	1.20	-	-
静岡県	17	0.57	1	0.03	2	0.07	8	0.27	37	3.70	3	0.30	-	-
愛知県	77	1.22	16	0.25	21	0.33	59	0.94	46	3.29	5	0.36	1	0.07
三重県	9	0.60	1	0.07	2	0.13	6	0.40	20	2.22	-	-	-	-
滋賀県	1	0.11	-	-	1	0.11	-	-	34	4.86	1	0.14	-	-
京都府	2	0.09	-	-	2	0.09	6	0.26	10	1.43	-	-	1	0.14
大阪府	77	1.24	29	0.47	25	0.40	55	0.89	41	2.73	8	0.53	1	0.07
兵庫県	44	0.96	14	0.30	11	0.24	32	0.70	15	1.25	1	0.08	-	-
奈良県	4	0.44	-	-	1	0.11	5	0.56	30	5.00	4	0.67	-	-
和歌山県	7	0.88	5	0.63	4	0.50	5	0.63	27	2.45	2	0.18	-	-
鳥取県	23	4.60	10	2.00	3	0.60	23	4.60	22	4.40	4	0.80	-	-
島根県	3	0.50	1	0.17	3	0.50	3	0.50	28	3.50	-	-	2	0.25
岡山県	13	0.59	2	0.09	5	0.23	14	0.64	9	1.80	1	0.20	1	0.20
広島県	30	1.30	2	0.09	4	0.17	23	1.00	76	3.62	13	0.62	1	0.05
山口県	8	0.67	1	0.08	1	0.08	8	0.67	47	5.22	12	1.33	2	0.22
徳島県	10	1.67	1	0.17	5	0.83	6	1.00	16	2.67	-	-	-	-
香川県	3	0.20	2	0.13	3	0.20	4	0.27	11	2.20	3	0.60	-	-
愛媛県	3	0.27	4	0.36	1	0.09	5	0.45	8	1.33	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	19	2.71	12	1.71	-	-
福岡県	68	1.84	10	0.27	7	0.19	55	1.49	26	1.73	-	-	-	-
佐賀県	19	2.71	-	-	-	-	4	0.57	23	3.83	4	0.67	-	-
長崎県	8	0.80	2	0.20	-	-	3	0.30	22	2.00	-	-	-	-
熊本県	9	0.69	9	0.69	1	0.08	5	0.38	58	3.87	1	0.07	2	0.13
大分県	7	0.70	3	0.30	1	0.10	4	0.40	18	1.64	10	0.91	-	-
宮崎県	11	0.92	-	-	1	0.08	8	0.67	19	2.71	4	0.57	-	-
鹿児島県	20	1.25	6	0.38	1	0.06	15	0.94	11	0.92	2	0.17	-	-
沖縄県	-	-	1	0.08	1	0.08	4	0.33	32	4.57	2	0.29	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 (女)

2009年1月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1161	1.21	386	0.40	162	0.17	165	0.17	713	1.54	177	0.38	15	0.03
北海道	103	2.45	19	0.45	11	0.26	19	0.45	22	0.96	5	0.22	-	-
青森県	19	1.46	3	0.23	3	0.23	3	0.23	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	9	0.60	2	0.13	2	0.13	2	0.13	50	2.50	4	0.20	-	-
宮城県	25	1.32	10	0.53	6	0.32	2	0.11	7	0.58	2	0.17	-	-
秋田県	15	1.07	3	0.21	3	0.21	3	0.21	14	1.75	-	-	-	-
山形県	11	1.10	3	0.30	8	0.80	3	0.30	13	1.30	3	0.30	-	-
福島県	30	1.88	5	0.31	5	0.31	3	0.19	17	2.43	-	-	-	-
茨城県	49	2.23	15	0.68	1	0.05	8	0.36	12	0.92	-	-	-	-
栃木県	17	1.00	2	0.12	4	0.24	1	0.06	13	1.86	1	0.14	-	-
群馬県	43	1.65	18	0.69	1	0.04	2	0.08	11	1.38	2	0.25	-	-
埼玉県	76	1.36	16	0.29	10	0.18	6	0.11	9	1.00	11	1.22	-	-
千葉県	33	0.87	10	0.26	5	0.13	2	0.05	14	1.56	17	1.89	1	0.11
東京都	83	1.57	29	0.55	18	0.34	11	0.21	31	1.41	18	0.82	1	0.05
神奈川県	47	0.87	17	0.31	8	0.15	3	0.06	7	0.88	2	0.25	-	-
新潟県	4	0.27	1	0.07	1	0.07	-	-	38	2.92	5	0.38	2	0.15
富山県	8	0.80	1	0.10	2	0.20	-	-	8	1.60	6	1.20	-	-
石川県	7	0.70	6	0.60	3	0.30	-	-	4	0.80	-	-	-	-
福井県	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	12	2.00	4	0.67	-	-
山梨県	10	1.11	3	0.33	1	0.11	-	-	8	0.80	1	0.10	5	0.50
長野県	21	1.40	7	0.47	2	0.13	2	0.13	11	1.00	6	0.55	-	-
岐阜県	5	0.36	2	0.14	1	0.07	2	0.14	5	1.00	6	1.20	1	0.20
静岡県	35	1.17	8	0.27	3	0.10	1	0.03	15	1.50	5	0.50	-	-
愛知県	59	0.94	26	0.41	12	0.19	6	0.10	32	2.29	3	0.21	-	-
三重県	7	0.47	5	0.33	1	0.07	-	-	13	1.44	-	-	-	-
滋賀県	5	0.56	3	0.33	4	0.44	-	-	20	2.86	1	0.14	-	-
京都府	22	0.96	15	0.65	-	-	4	0.17	2	0.29	-	-	-	-
大阪府	119	1.92	34	0.55	15	0.24	28	0.45	21	1.40	7	0.47	-	-
兵庫県	43	0.93	9	0.20	1	0.02	5	0.11	16	1.33	3	0.25	-	-
奈良県	1	0.11	1	0.11	2	0.22	-	-	7	1.17	2	0.33	-	-
和歌山県	6	0.75	-	-	1	0.13	-	-	20	1.82	1	0.09	1	0.09
鳥取県	9	1.80	1	0.20	-	-	-	-	13	2.60	3	0.60	-	-
島根県	1	0.17	4	0.67	1	0.17	1	0.17	15	1.88	2	0.25	1	0.13
岡山県	21	0.95	10	0.45	2	0.09	11	0.50	3	0.60	1	0.20	-	-
広島県	30	1.30	9	0.39	2	0.09	2	0.09	43	2.05	8	0.38	-	-
山口県	10	0.83	5	0.42	2	0.17	1	0.08	23	2.56	11	1.22	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1.33	-	-	-	-
香川県	9	0.60	5	0.33	4	0.27	2	0.13	5	1.00	3	0.60	-	-
愛媛県	6	0.55	-	-	1	0.09	-	-	2	0.33	-	-	-	-
高知県	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	12	1.71	12	1.71	-	-
福岡県	55	1.49	34	0.92	6	0.16	12	0.32	22	1.47	-	-	-	-
佐賀県	2	0.29	3	0.43	-	-	3	0.43	8	1.33	2	0.33	-	-
長崎県	6	0.60	7	0.70	3	0.30	-	-	11	1.00	5	0.45	-	-
熊本県	38	2.92	12	0.92	3	0.23	6	0.46	34	2.27	2	0.13	-	-
大分県	7	0.70	8	0.80	1	0.10	-	-	20	1.82	5	0.45	2	0.18
宮崎県	6	0.50	3	0.25	-	-	-	-	11	1.57	7	1.00	1	0.14
鹿児島県	16	1.00	9	0.56	1	0.06	10	0.63	7	0.58	-	-	-	-
沖縄県	31	2.58	1	0.08	2	0.17	1	0.08	23	3.29	1	0.14	-	-



7週のデータ

注) 表中の報告数は2月18日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年7週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	256	2536
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	95
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	37
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	47
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	30
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	33
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	42
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	33
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	124
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	168
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	377
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	188
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	30
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	27
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	33
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	69
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	50
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	199
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	32
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	31
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	44
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	99
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	97
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	29
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	63
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	38
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	17
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	23
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	14
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	117
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	38
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	28
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	35
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	33

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年7週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	1	1	15	6	67	-	2	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	1	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2009年7週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサヌル 森 林 病		Q 熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	8	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年7週

	狂 犬 病		コクシジ オイデス症		サル 痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭 痘		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	33	-	12
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2009年7週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス 感 染 症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		鼻 痘		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年7週

	ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年7週

	類 鼻 疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅 斑 熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	6	87	-	1	-	-	14	109	4	25	1	39	-	-	2	14
北海道	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	2	6	-	-	-	-	1	4	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	2	-	-	-	-	1	5	1	2	-	2	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	7	-	-	-	5	-	-	-	1
東京都	-	-	1	10	-	-	-	-	2	20	1	5	-	4	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	6	-	-	-	-	2	8	-	1	-	2	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	4	-	-	-	-
富山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	1	1
岐阜県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	1
愛知県	-	-	1	7	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	1	-	-	-	-	1	6	-	1	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	3	-	-	-	-	1	14	-	3	-	6	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	1	3	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年7週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症 候 群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄 膜 炎		先天性風しん 症 候 群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	14	11	148	1	5	-	3	-	-	7	82	-	6	-	-	-	11
北海道	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	5	53	1	4	-	-	-	-	3	20	-	1	-	-	-	1
神奈川県	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	2	7	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1
愛知県	-	1	1	16	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	22	-	1	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2009年7週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	16	10	106
北海道	-	1	-	3
青森県	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	2
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	1	1
福島県	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3
埼玉県	-	1	1	10
千葉県	-	-	-	8
東京都	-	1	2	16
神奈川県	-	5	2	19
新潟県	-	-	1	2
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	1
愛知県	-	1	-	4
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	7
兵庫県	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	1	-	3
山口県	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	4	-	8
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	1	2
沖縄県	-	-	1	1

*鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年7週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	80102	16.75	658	0.22	6257	2.07	19567	6.47	4816	1.59	248	0.08	235	0.08	1495	0.49	85	0.03
北海道	1640	7.22	52	0.37	494	3.48	304	2.14	142	1.00	12	0.08	3	0.02	61	0.43	4	0.03
青森県	1141	17.55	15	0.36	89	2.12	232	5.52	38	0.90	34	0.81	7	0.17	22	0.52	-	-
岩手県	888	13.88	-	-	37	0.93	231	5.78	40	1.00	7	0.18	-	-	10	0.25	-	-
宮城県	1283	13.36	8	0.13	121	2.02	546	9.10	125	2.08	2	0.03	9	0.15	37	0.62	-	-
秋田県	741	13.47	2	0.06	129	3.69	191	5.46	53	1.51	14	0.40	2	0.06	12	0.34	-	-
山形県	941	19.60	11	0.37	118	3.93	360	12.00	85	2.83	2	0.07	1	0.03	25	0.83	-	-
福島県	1095	13.69	8	0.17	108	2.25	288	6.00	63	1.31	5	0.10	8	0.17	31	0.65	4	0.08
茨城県	1626	13.55	10	0.13	186	2.48	348	4.64	83	1.11	6	0.08	7	0.09	17	0.23	2	0.03
栃木県	1475	19.41	3	0.06	81	1.69	151	3.15	76	1.58	2	0.04	1	0.02	32	0.67	2	0.04
群馬県	1177	11.77	9	0.15	129	2.08	414	6.68	81	1.31	6	0.10	1	0.02	18	0.29	2	0.03
埼玉県	3611	15.11	19	0.13	385	2.53	887	5.84	233	1.53	35	0.23	6	0.04	77	0.51	5	0.03
千葉県	3507	16.62	25	0.19	345	2.63	895	6.83	181	1.38	9	0.07	9	0.07	78	0.60	4	0.03
東京都	3005	10.58	32	0.22	291	1.98	911	6.20	176	1.20	7	0.05	30	0.20	55	0.37	2	0.01
神奈川県	5253	16.11	34	0.17	356	1.75	1054	5.17	282	1.38	11	0.05	44	0.22	113	0.55	4	0.02
新潟県	2622	27.03	44	0.72	264	4.33	374	6.13	166	2.72	1	0.02	4	0.07	35	0.57	-	-
富山県	1097	22.85	11	0.38	123	4.24	258	8.90	49	1.69	1	0.03	1	0.03	16	0.55	-	-
石川県	916	19.08	6	0.21	56	1.93	175	6.03	47	1.62	-	-	-	-	10	0.34	-	-
福井県	667	20.84	15	0.68	93	4.23	293	13.32	70	3.18	4	0.18	1	0.05	9	0.41	-	-
山梨県	531	13.28	2	0.08	50	2.08	142	5.92	19	0.79	-	-	2	0.08	7	0.29	-	-
長野県	1988	22.59	8	0.15	87	1.58	311	5.65	90	1.64	1	0.02	1	0.02	19	0.35	1	0.02
岐阜県	1034	11.89	19	0.36	47	0.89	247	4.66	40	0.75	-	-	-	-	21	0.40	1	0.02
静岡県	2484	19.11	8	0.10	166	1.98	679	8.08	138	1.64	2	0.02	4	0.05	46	0.55	-	-
愛知県	3796	19.57	34	0.19	280	1.55	1372	7.58	245	1.35	16	0.09	3	0.02	105	0.58	5	0.03
三重県	1340	18.61	10	0.22	65	1.44	467	10.38	83	1.84	1	0.02	-	-	32	0.71	-	-
滋賀県	1038	19.22	4	0.12	56	1.70	218	6.61	34	1.03	1	0.03	2	0.06	13	0.39	-	-
京都府	2124	17.13	2	0.03	93	1.24	375	5.00	45	0.60	1	0.01	1	0.01	18	0.24	-	-
大阪府	6243	21.68	24	0.13	426	2.22	1350	7.03	257	1.34	8	0.04	19	0.10	70	0.36	8	0.04
兵庫県	5112	25.69	6	0.05	119	0.92	914	7.09	163	1.26	2	0.02	5	0.04	41	0.32	-	-
奈良県	930	16.91	6	0.17	18	0.51	190	5.43	61	1.74	-	-	1	0.03	6	0.17	2	0.06
和歌山県	777	15.54	6	0.19	39	1.26	165	5.32	90	2.90	-	-	-	-	11	0.35	-	-
鳥取県	585	20.17	-	-	72	3.79	90	4.74	22	1.16	-	-	1	0.05	5	0.26	1	0.05
島根県	715	18.82	14	0.61	16	0.70	217	9.43	24	1.04	6	0.26	1	0.04	17	0.74	-	-
岡山県	823	9.80	10	0.19	43	0.80	511	9.46	69	1.28	2	0.04	5	0.09	21	0.39	1	0.02
広島県	1440	12.52	17	0.24	95	1.32	412	5.72	99	1.38	1	0.01	15	0.21	43	0.60	1	0.01
山口県	837	11.79	13	0.26	222	4.44	327	6.54	107	2.14	12	0.24	5	0.10	29	0.58	-	-
徳島県	818	21.53	10	0.45	31	1.41	155	7.05	56	2.55	1	0.05	5	0.23	7	0.32	-	-
香川県	1472	31.32	14	0.50	29	1.04	198	7.07	17	0.61	-	-	1	0.04	17	0.61	4	0.14
愛媛県	1356	22.23	8	0.22	46	1.24	271	7.32	82	2.22	1	0.03	2	0.05	40	1.08	-	-
高知県	1025	21.35	3	0.10	28	0.93	139	4.63	44	1.47	11	0.37	3	0.10	17	0.57	-	-
福岡県	3578	18.07	46	0.38	291	2.43	911	7.59	281	2.34	8	0.07	5	0.04	95	0.79	9	0.08
佐賀県	531	13.62	6	0.26	36	1.57	86	3.74	66	2.87	3	0.13	4	0.17	7	0.30	-	-
長崎県	1327	18.96	18	0.41	59	1.34	326	7.41	80	1.82	2	0.05	1	0.02	20	0.45	14	0.32
熊本県	1307	16.34	16	0.33	62	1.29	492	10.25	108	2.25	-	-	6	0.13	42	0.88	1	0.02
大分県	957	16.50	1	0.03	135	3.75	311	8.64	72	2.00	1	0.03	1	0.03	24	0.67	-	-
宮崎県	1164	20.42	15	0.43	82	2.34	320	9.14	142	4.06	4	0.11	5	0.14	28	0.80	4	0.11
鹿児島県	1078	11.59	31	0.56	145	2.64	381	6.93	110	2.00	6	0.11	3	0.05	25	0.45	1	0.02
沖縄県	1007	17.36	3	0.09	14	0.41	78	2.29	182	5.35	-	-	-	-	11	0.32	3	0.09

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年7週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	48	0.02	1270	0.42	14	0.02	285	0.43	12	0.03	4	0.01	140	0.30	8	0.02	436
北海道	1	0.01	21	0.15	2	0.07	7	0.24	-	-	-	-	3	0.13	-	-	5
青森県	1	0.02	13	0.31	-	-	9	0.82	-	-	-	-	4	0.67	-	-	3
岩手県	1	0.03	5	0.13	-	-	9	0.64	-	-	-	-	8	0.40	-	-	4
宮城県	-	-	16	0.27	2	0.17	4	0.33	-	-	-	-	8	0.67	-	-	4
秋田県	-	-	12	0.34	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	34	1.13	-	-	3	0.38	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-
福島県	-	-	10	0.21	-	-	7	0.58	-	-	-	-	18	2.57	1	0.14	21
茨城県	1	0.01	7	0.09	-	-	12	0.71	-	-	-	-	4	0.31	-	-	-
栃木県	3	0.06	8	0.17	-	-	4	0.33	-	-	-	-	2	0.29	-	-	10
群馬県	-	-	29	0.47	-	-	12	0.86	-	-	-	-	3	0.38	-	-	1
埼玉県	-	-	52	0.34	-	-	14	0.33	-	-	-	-	14	1.56	1	0.11	6
千葉県	4	0.03	47	0.36	-	-	17	0.59	-	-	-	-	1	0.13	-	-	4
東京都	3	0.02	62	0.42	1	0.03	7	0.18	-	-	-	-	4	0.17	2	0.08	6
神奈川県	2	0.01	78	0.38	2	0.05	32	0.82	-	-	-	-	2	0.25	-	-	10
新潟県	2	0.03	11	0.18	-	-	5	0.56	-	-	-	-	2	0.17	3	0.25	11
富山県	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	4	0.80	-	-	13
石川県	-	-	13	0.45	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	17
福井県	-	-	51	2.32	-	-	-	-	1	0.17	-	-	-	-	-	-	4
山梨県	-	-	3	0.13	-	-	3	0.33	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-
長野県	-	-	2	0.04	-	-	9	0.82	1	0.09	-	-	6	0.55	-	-	9
岐阜県	-	-	26	0.49	-	-	3	0.27	-	-	1	0.20	2	0.40	-	-	6
静岡県	-	-	15	0.18	-	-	2	0.11	1	0.11	-	-	12	1.33	-	-	10
愛知県	3	0.02	120	0.66	-	-	4	0.12	-	-	-	-	4	0.27	-	-	15
三重県	1	0.02	7	0.16	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	18	0.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
京都府	2	0.03	12	0.16	-	-	3	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	1	0.01	58	0.30	2	0.04	7	0.14	1	0.08	-	-	6	0.46	-	-	57
兵庫県	1	0.01	20	0.16	-	-	22	0.63	1	0.09	-	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	20	0.57	-	-	1	0.11	-	-	-	-	1	0.17	-	-	1
和歌山県	-	-	9	0.29	-	-	2	0.50	-	-	-	-	2	0.18	-	-	12
鳥取県	-	-	5	0.26	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-	8
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13	1	0.13	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	22	0.41	-	-	2	0.17	1	0.20	-	-	-	-	-	-	3
広島県	1	0.01	13	0.18	2	0.11	11	0.58	-	-	-	-	1	0.05	-	-	20
山口県	2	0.04	3	0.06	-	-	4	0.44	-	-	-	-	4	0.44	-	-	13
徳島県	-	-	1	0.05	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	9
香川県	1	0.04	6	0.21	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛媛県	-	-	31	0.84	-	-	9	1.13	-	-	-	-	3	0.50	-	-	3
高知県	-	-	41	1.37	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福岡県	4	0.03	164	1.37	2	0.08	6	0.23	-	-	-	-	1	0.07	-	-	44
佐賀県	-	-	21	0.91	-	-	4	1.00	-	-	-	-	1	0.17	-	-	1
長崎県	1	0.02	69	1.57	1	0.13	2	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	6
熊本県	4	0.08	34	0.71	-	-	10	1.11	1	0.07	-	-	-	-	-	-	19
大分県	-	-	21	0.58	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	11
宮崎県	3	0.09	41	1.17	-	-	3	0.50	-	-	-	-	1	0.14	-	-	8
鹿児島県	1	0.02	7	0.13	-	-	2	0.29	-	-	1	0.08	8	0.67	-	-	16
沖縄県	5	0.15	12	0.35	-	-	16	1.60	4	0.57	-	-	9	1.29	1	0.14	7

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年7週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						結核		鳥インフルエンザ (H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年7週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第11巻 第7号 2009年2月27日発行
発 行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。